神埼市文化財調査報告書第29集

市内遺跡確認調査概要報告書　XII

－神埼市内埋蔵文化財確認調査（平成30年度）の概要－

２０２０

神 埼 市 教 育 委 員 会

は　じ　め　に

神埼市には、旧石器時代より現代まで、多くの遺跡が存在しており、その密度の高さと重要性は、市民の皆様はじめ多くの方々にご理解を頂いていることと存じます。

神埼市教育委員会では、各種開発に伴いこれらの貴重な文化財を守ると共に、各種開発との調整を図るために確認調査を進めてまいりました。

この報告書は、各種開発による工事に先立ち、平成30年度に神埼市教育委員会が行いました市内遺跡確認調査の概要をまとめたものです。

本書が、今後の文化財保護行政の資料として皆様に活用して頂きますことを願っております。

最後に、市内遺跡確認調査に際しまして、ご協力をいただきました関係各位に対しまして、深くお礼を申し上げます。

令和２年３月

神埼市教育委員会

教育長　末次　利明

例　　言

1．本書は、国庫補助金を受けて平成30年度に実施した確認調査の概要報告を、国庫補助金を受けて令和元年度に作成したものである。
2．確認調査は、神埼市教育委員会の職員が行った。
3．遺物の整理、実測、製図は、神埼市教育委員会が行った。
4．本書の執筆は、島が行い、編集は、島、髙柳が行った。

凡　　例

1．本書に用いた地図は、上が北を示し、方位は座標北または、磁北を用いたものもある。
2．本書に用いた番号は、前の数字が調査年度を表し、後の数字が各年度の通し番号とした。
3．トレンチ配置図に黒塗りで示した場所は、トレンチ(試掘穴)の地点を示す。
4．遺跡名の後の番号は、遺跡番号を示す。

組織（平成30年度　調査）
調査主体　神埼市教育委員会
教 育 長　末次　利明
部　　長　家永　秀文
課　　長　松永　義彦　社会教育課
副 課 長　桑原　幸則　社会教育課
係　　長　谷　洋一郎　社会教育課文化財係
主　　事　島　　佑輔　社会教育課文化財係
嘱　　託　髙柳　信敏　社会教育課文化財係

組織(平成31年度　整理作業)
調査主体　神埼市教育委員会
教 育 長　末次　利明
部　　長　家永　秀文
課　　長　合田　謙三郎　社会教育課
副 課 長　桑原　幸則　　社会教育課
係　　長　佐藤　健一　　社会教育課文化財係
主　　事　島　　佑輔　　社会教育課文化財係
嘱　　託　髙柳　信敏　　社会教育課文化財係

調査指導　佐賀県文化・スポーツ交流局　文化課　文化財保護室

発掘作業員
伊藤樹　手塚かつよ　西村潤二　野口厚子　野田絹代　山﨑久枝　山口昌平

整理作業員
伊藤樹　服部記子　野田絹代

目　　次

１．遺跡の立地と環境……1
　①　自然的環境……1
　②　歴史的環境……1
２．平成30年度の確認調査……6

表　目　次

第１表　平成30年度確認調査実施地区一覧表……3
第２表　平成30年度確認調査地出土遺物観察表……26

挿　図　目　次

第１図　神埼市遺跡地図……2
第２図　神埼町確認調査位置図……4
第３図　千代田町確認調査位置図……5
第４図　30－1位置図……6
第５図　30－1トレンチ配置図……6
第６図　30－1基本土層図……6
第７図　30－2位置図……6
第８図　30－2トレンチ配置図……6
第９図　30－2基本土層図……6
第10図　30－3位置図……7
第11図　30－3トレンチ配置図……7
第12図　30－3基本土層図……7
第13図　30－4位置図……7
第14図　30－4トレンチ配置図……7
第15図　30－4基本土層図……7
第16図　30－5位置図……8
第17図　30－5トレンチ配置図……8
第18図　30－5基本土層図……8
第19図　30－6位置図……8
第20図　30－6トレンチ配置図……8
第21図　30－6基本土層図……8
第22図　30－7位置図……9
第23図　30－7トレンチ配置図……9
第24図　30－7基本土層図……9
第25図　30－8位置図……9
第26図　30－8トレンチ配置図……9
第27図　30－8基本土層図……9
第28図　30－9位置図……10
第29図　30－9トレンチ配置図……10
第30図　30－9基本土層図……10
第31図　30－10位置図……10
第32図　30－10トレンチ配置図……10
第33図　30－10基本土層図……10
第34図　30－11位置図……11
第35図　30－11トレンチ配置図……11
第36図　30－11基本土層図……11
第37図　30－12位置図……11
第38図　30－12トレンチ配置図……11
第39図　30－12基本土層図……11
第40図　30－13位置図……12
第41図　30－13トレンチ配置図……12
第42図　30－13基本土層図……12
第43図　30－14位置図……12
第44図　30－14トレンチ配置図……12
第45図　30－14基本土層図……12
第46図　30－15位置図……13
第47図　30－15トレンチ配置図……13
第48図　30－15基本土層図……13
第49図　30－16位置図……13
第50図　30－16トレンチ配置図……13
第51図　30－16基本土層図……13
第52図　30－17位置図……14
第53図　30－17トレンチ配置図……14
第54図　30－17基本土層図……14
第55図　30－18位置図……14
第56図　30－18トレンチ配置図……14
第57図　30－18基本土層図……14
第58図　30－19位置図……15
第59図　30－19トレンチ配置図……15
第60図　30－19基本土層図……15
第61図　30－20位置図……15
第62図　30－20トレンチ配置図……15
第63図　30－20基本土層図……15
第64図　30－21位置図……16
第65図　30－21トレンチ配置図……16
第66図　30－21基本土層図……16
第67図　30－22位置図……16
第68図　30－22トレンチ配置図……16
第69図　30－22基本土層図……16
第70図　30－23位置図……17
第71図　30－23トレンチ配置図……17
第72図　30－23基本土層図……17
第73図　30－24位置図……17
第74図　30－24トレンチ配置図……17
第75図　30－24基本土層図……17
第76図　30－25位置図……18
第77図　30－25トレンチ配置図……18
第78図　30－25基本土層図……18
第79図　30－26位置図……18
第80図　30－26トレンチ配置図……18

第81図　30－26基本土層図 ……18
第82図　30－27位置図 ……19
第83図　30－27トレンチ配置図 ……19
第84図　30－27基本土層図 ……19
第85図　30－28位置図 ……19
第86図　30－28トレンチ配置図 ……19
第87図　30－28基本土層図 ……19
第88図　30－29位置図 ……20
第89図　30－29トレンチ配置図 ……20
第90図　30－29基本土層図 ……20
第91図　30－30位置図 ……20
第92図　30－30トレンチ配置図 ……20
第93図　30－30基本土層図 ……20
第94図　30－31位置図 ……21
第95図　30－31トレンチ配置図 ……21
第96図　30－31基本土層図 ……21
第97図　30－32位置図 ……21
第98図　30－32トレンチ配置図 ……21
第99図　30－32基本土層図 ……21
第100図　30－33位置図 ……22
第101図　30－33トレンチ配置図 ……22
第102図　30－33基本土層図 ……22
第103図　30－34位置図 ……22
第104図　30－34トレンチ配置図 ……22
第105図　30－34基本土層図 ……22
第106図　30－35位置図 ……23
第107図　30－35トレンチ配置図 ……23
第108図　30－35基本土層図 ……23
第109図　30－36位置図 ……23
第110図　30－36トレンチ配置図 ……23
第111図　30－36基本土層図 ……23
第112図　出土遺物実測図 ……24
第113図　出土遺物実測図 ……25

写　真　目　次

写真１　30－1トレンチ全景 ……27
写真２　30－1土層 ……27
写真３　30－2トレンチ全景 ……27
写真４　30－2土層 ……27
写真５　30－3トレンチ全景 ……27
写真６　30－3土層 ……27
写真７　30－4トレンチ全景 ……27
写真８　30－4土層 ……27
写真９　30－5トレンチ全景 ……28
写真10　30－5土層 ……28
写真11　30－6トレンチ全景 ……28
写真12　30－6土層 ……28
写真13　30－7トレンチ全景 ……28
写真14　30－7土層 ……28
写真15　30－8トレンチ全景 ……28
写真16　30－8土層 ……28
写真17　30－9トレンチ全景 ……29
写真18　30－9土層 ……29
写真19　30－10トレンチ全景……29
写真20　30－10土層……29
写真21　30－11トレンチ全景……29
写真22　30－11土層……29
写真23　30－12トレンチ全景……29
写真24　30－12土層……29
写真25　30－13トレンチ全景……30
写真26　30－13土層……30
写真27　30－14トレンチ全景……30
写真28　30－14土層……30
写真29　30－15トレンチ全景……30
写真30　30－15土層……30
写真31　30－16トレンチ全景……30
写真32　30－16土層……30
写真33　30－17トレンチ全景……31
写真34　30－17土層……31
写真35　30－18トレンチ全景……31
写真36　30－18土層……31
写真37　30－19トレンチ全景……31
写真38　30－19土層……31
写真39　30－20トレンチ全景……31
写真40　30－20土層……31
写真41　30－21トレンチ全景……32
写真42　30－21土層……32
写真43　30－22トレンチ全景……32
写真44　30－22土層……32
写真45　30－23トレンチ全景……32
写真46　30－23土層……32
写真47　30－24トレンチ全景……32
写真48　30－24土層……32
写真49　30－25トレンチ全景……33
写真50　30－25土層……33
写真51　30－26トレンチ全景……33
写真52　30－26土層……33
写真53　30－27トレンチ全景……33
写真54　30－27土層……33
写真55　30－28トレンチ全景……33
写真56　30－28土層……33
写真57　30－29トレンチ全景……34
写真58　30－29土層……34
写真59　30－30トレンチ全景……34
写真60　30－30土層……34
写真61　30－31トレンチ全景……34
写真62　30－31土層……34
写真63　30－32トレンチ全景……34
写真64　30－32土層……34
写真65　30－33トレンチ全景……35
写真66　30－33土層……35
写真67　30－34トレンチ全景……35
写真68　30－34土層……35
写真69　30－35トレンチ全景……35
写真70　30－35土層……35
写真71　30－36トレンチ全景……35
写真72　30－36土層……35

1．遺跡の立地と環境

① 自然的環境

神埼市は、佐賀県東部に位置し、北は脊振山を挟んで福岡県福岡市、南は筑後川を挟んで福岡県久留米市、西は佐賀市、東は神埼郡吉野ヶ里町に接し、北は脊振山から南は千代田町の平野部まで南北に細長い形をしている。脊振山系を源に城原川、田手川、三本松川が流れ、神埼町北部では扇状地が形成され、神埼町南部と千代田町では河川と有明海の干満の差による堆積作用により、高低差の少ない平坦な平野が形成される。また、南部地域では、佐賀平野特有の堀（クリーク）に囲まれた環濠集落が中世以降現在まで続く生活空間として残る。

② 歴史的環境

神埼市は、旧石器時代から近代まで市内各地に多くの生活の跡が存在する。

旧石器時代は、脊振山南麓部に国府形ナイフと九州の在地系の技法で作られたナイフ形石器が共伴して出土した船塚遺跡をはじめ、丘陵地帯では同時代の遺物が出土した塚原遺跡、吉野ヶ里遺跡が分布する。

縄文時代は、脊振山南麓部で早期から後期の土器が出土し、住居跡、集石、落し穴等が検出された船塚遺跡、早期から晩期の土器が出土し、後期から晩期の埋甕と土壙墓が検出された志波屋六本松遺跡が分布する。

弥生時代は、吉野ヶ里丘陵上に前期から後期までの大規模な環濠集落である吉野ヶ里遺跡が形成され、城原川右岸に展開する利田・川寄などの遺跡（群）では、鐸形土製品が出土している。南部平野部では、銅剣、銅矛の鋳型が出土した姉遺跡、朝鮮系の黒色磨研土器が出土した上黒井遺跡、農具と漁撈具が出土した詫田西分遺跡等の貝塚が伴った遺跡が分布する。

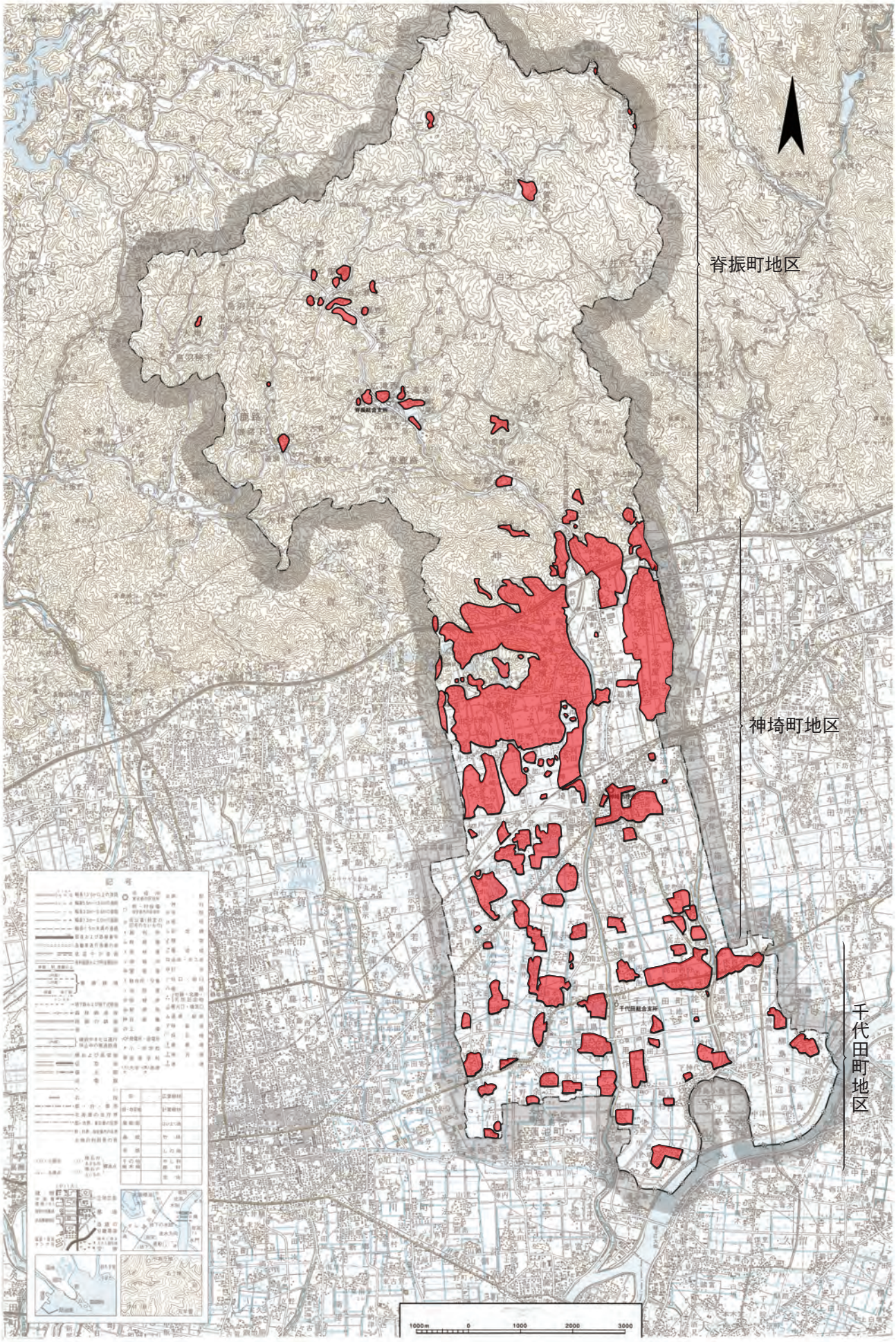
古墳時代になると、旧城原川西岸に方形居館が形成された右原祇園町遺跡、吉野ヶ里丘陵西側には吉野ヶ里遺跡廃絶後に大規模な集落跡が形成された馬郡竹原遺跡群、集落内の溝によって住居跡が区画された志波屋六本松遺跡が分布する。古墳は、石釧と変形四獣鏡が出土した朝日古墳、県内屈指の規模の装飾古墳である伊勢塚古墳が築造され、天神尾古墳群、猿岳古墳群、花浦古墳群等の群集墳が脊振山南麓部や丘陵地帯に多く築造される。また、平原須恵器窯跡が日の隈山西方に所在する。

古代では、切通や官道跡が検出された吉野ヶ里遺跡、塚原遺跡、吉野ヶ里丘陵西側で帯金具や墨書土器が出土し、神埼郡衙と推定される馬郡竹原遺跡群、丘陵上で規則的な掘立柱建物群が並んだ志波屋三の坪(乙)遺跡、志波屋四の坪遺跡が西海道を中心に分布する。また、古代から中世にかけて皇室領として神崎荘が形成され、脊振山地周辺では、脊振山経塚群、多門坊跡等の山岳仏教に関係した遺跡が分布する。

中世になると、山間部に勢福寺城、横大路城、平野部には堀を巡らした環濠集落が形成され、代表的なものとして姉川城、横武城、直鳥城等の城館が築造される。勢福寺城では、「元屋敷」「市場」「小路」、姉川城では、「下馬口」「構口」「館」、直鳥城では、「城屋敷」「鍛冶屋敷」「村小路」等のしこ名が残ることから、城(城館)として機能していた事がわかる。

近世になると、長崎街道沿いに宿場町が形成され、筑後川へ向かう蓮池往還と長崎街道の分岐点であった境原宿や櫛田宮の門前町として栄えた神埼宿がつくられ、お茶屋や脇本陣が置かれた。また、神埼宿では、「二日市」·「四日市」等の地名や街道沿いには長崎街道唯一のひのはしら一里塚が残り、発掘調査により中世から明治期にかけての生活面·硬化面・整地層等が検出された神埼宿遺跡が分布する。

現在でも、市内各地には条里制の名残りとして石井ヶ里、田道ヶ里等の「里」、一の坪、二の坪等の「坪」が付く地名や、中世から近世に堀を巡らせた環濠集落が形成され、生活空間として現在に至る。

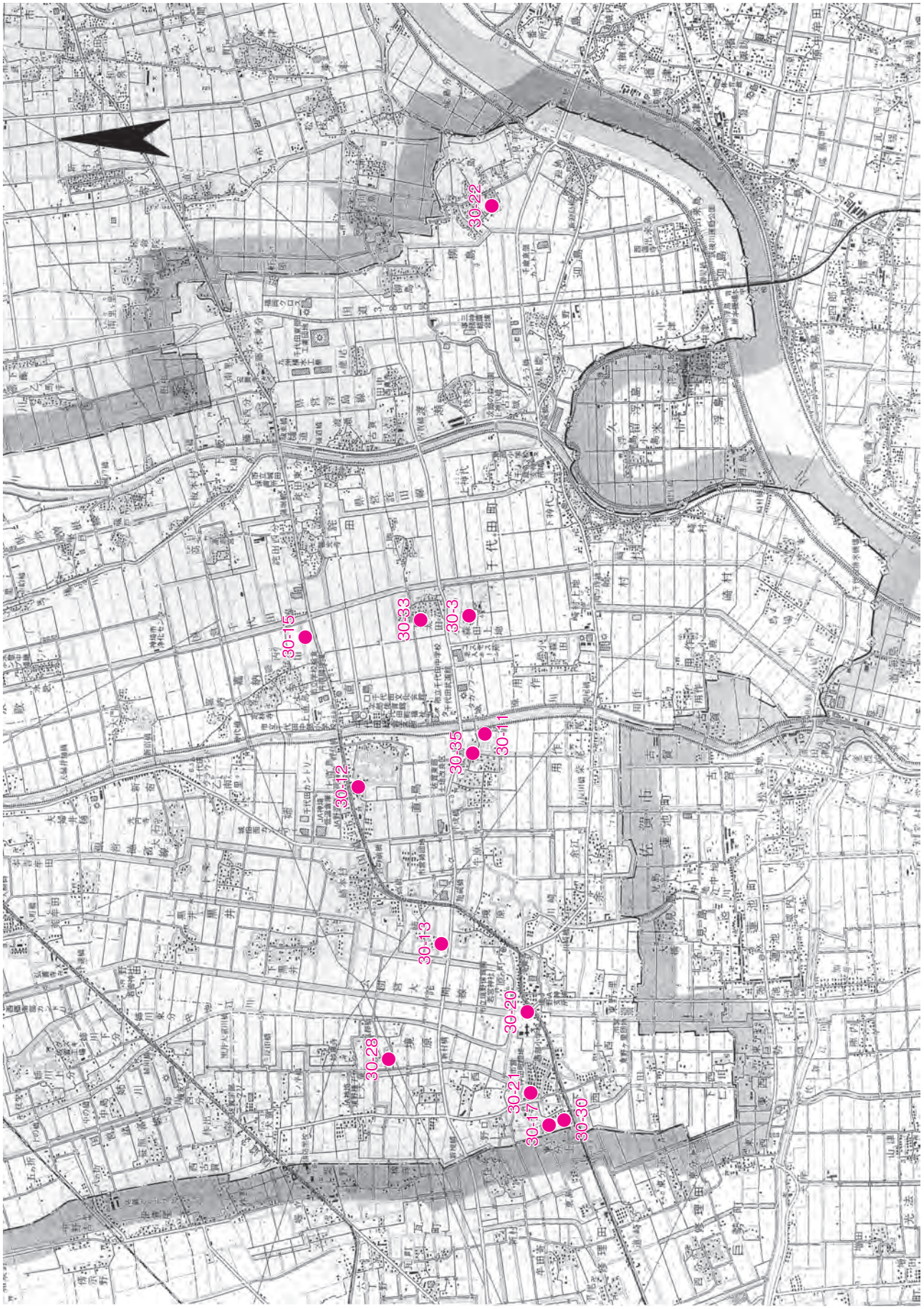


第１図　神埼市遺跡地図（朱囲みの部分が周知の埋蔵文化財包蔵地）

第1表　平成30年度確認調査実施一覧表

番号	遺跡名	調査地	原因者	事業内容	工事面積	調査面積	調査結果	調査後の措置
30-1	本堀朝日遺跡	神埼町本堀3197-10	個人	個人住宅建設	212.07 ㎡	8.00 ㎡	遺構･遺物なし	慎重工事
30-2	未周知	神埼町鶴1547　外10筆	民間	駐車場整備	10,047.00 ㎡	40.00 ㎡	遺構･遺物なし	差し支えなし
30-3	小森田上地遺跡	千代田町用作2330-3、2329	個人	個人住宅建設	214.88 ㎡	10.00 ㎡	遺構･遺物なし	慎重工事
30-4	志波屋四本松遺跡	神埼町志波屋2214の一部	個人	個人住宅建設	381.80 ㎡	9.88 ㎡	遺構･遺物なし	慎重工事
30-5	本堀朝日遺跡	神埼町本堀3150-12	個人	個人住宅建設	251.98 ㎡	8.40 ㎡	遺構･遺物なし	慎重工事
30-6	的五本黒木遺跡	神埼町的370-1	個人	共同住宅建設	845.00 ㎡	72.57 ㎡	遺構･遺物確認	慎重工事
30-7	西田遺跡	神埼町城原1099-1	個人	個人住宅建設	406.00 ㎡	19.00 ㎡	遺構確認	確認調査にとどめる
30-8	花浦古墳群	神埼町志波屋2563-1、2565-22	個人	文化財の有無	3,723.00 ㎡	7.39 ㎡	遺構・遺物なし	差し支えなし
30-9	未周知	神埼町田道ヶ里2691-1　外3筆	佐賀県農協	事務所建設	6,983.80 ㎡	94.08 ㎡	遺構・遺物なし	差し支えなし
30-10	柏原四の割遺跡	神埼町竹3583	個人	個人住宅建設	554.00 ㎡	24.30 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-11	下直鳥遺跡	千代田町直鳥1275-1　外2筆	民間	借家建設	1,646.60 ㎡	22.36 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-12	直鳥城跡	千代田町直鳥438-1	個人	個人住宅建設	320.87 ㎡	16.12 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-13	境原四本松遺跡	千代田町境原488、489	学校法人	教育施設建設	8,366.00 ㎡	80.62 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-14	志波屋二本松（乙）遺跡	神埼町志波屋1819-7	個人	個人住宅建設	177.73 ㎡	10.53 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-15	詫田西分遺跡	千代田町嘉納1159-1	民間	駐車場整備	762.00 ㎡	31.46 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-16	神埼宿遺跡	神埼町神埼308-1	個人	駐車場整備	195.00 ㎡	14.16 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-17	貴別当神社遺跡	千代田町下西572-1、569-1の一部	個人	個人住宅建設	224.43 ㎡	13.39 ㎡	遺構・遺物確認	慎重工事
30-18	上六丁遺跡	神埼町横武1165-1	西慶寺	駐車場整備	357.00 ㎡	28.70 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-19	的五本黒木遺跡	神埼町的366-1、366-4	個人	個人住宅建設	465.50 ㎡	17.75 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-20	原の町西遺跡	千代田町境原827	個人	個人住宅建設	295.51 ㎡	15.47 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-21	貴別当神社遺跡	千代田町下西521-23、521-31	民間	個人住宅建設	347.91 ㎡	21.59 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-22	大島環濠集落	千代田町柳島1703-9	個人	個人住宅建設	499.00 ㎡	13.52 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-23	下六丁遺跡	神埼町横武1785	個人	個人住宅建設	568.03 ㎡	8.68 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-24	志波屋一本松遺跡	神埼町志波屋地内	組合	市道の拡幅	7,704.00 ㎡	42.28 ㎡	遺構確認	遺構周辺は工事立会
30-25	的五本黒木遺跡	神埼町的391-3、392-2	民間	共同住宅建設	1,612.00 ㎡	77.56 ㎡	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
30-26	川寄若宮遺跡	神埼町竹361-1、361-4	個人	個人住宅建設	382.20 ㎡	21.70 ㎡	遺構確認	慎重工事
30-27	野田遺跡	神埼町竹1633-1	個人	個人住宅建設	933.29 ㎡	18.90 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-28	下犬童環濠集落	千代田町境原1637	個人	個人住宅建設	976.43 ㎡	6.58 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-29	本告牟田遺跡	神埼町本告牟田1959	個人	個人住宅建設	1,476.35 ㎡	7.14 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-30	仲田町環濠集落	千代田町下西606	個人	個人住宅建設	334.70 ㎡	5.74 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-31	志波屋五の坪遺跡	神埼町志波屋626-2	個人	個人住宅建設	279.20 ㎡	12.88 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-32	城原四本谷遺跡	神埼町城原1888-1　外4筆	個人	資材置場設置	4,077.00 ㎡	60.90 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-33	丁太田遺跡	千代田町詫田1206-2	個人	個人住宅建設	135.00 ㎡	19.88 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-34	尾崎利田遺跡	神埼町尾崎554の一部	個人	個人住宅建設	201.33 ㎡	10.60 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-35	下直鳥遺跡	千代田町直鳥1231、1231地先	個人	個人住宅建設	706.93 ㎡	14.40 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事
30-36	本堀町裏遺跡	神埼町神埼238、237-2	個人	個人住宅建設	526.03 ㎡	6.58 ㎡	遺構・遺物なし	慎重工事

第２図　神埼町確認調査位置図



第３図　千代田町確認調査位置図

2．平成30年度の確認調査

30-1　本堀朝日遺跡（0221）（掘削機供与）

神埼市神埼町本堀3197-10

【立地】 弥生時代から中世までの散布地である本堀朝日遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の西部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】

遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。

第６図　30-1基本土層図（1/30）

第４図　30-1調査地位置図（1/10,000）

第５図　30-1トレンチ配置図（1/1,000）

30-2　未周知（トヨタ紡織九州）（掘削機供与）

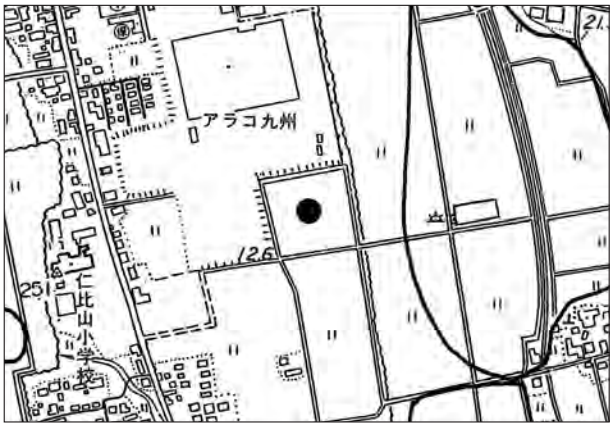
神埼市神埼町鶴1547　外10筆

【立地】 調査地は神埼市中部の神埼町に位置する。

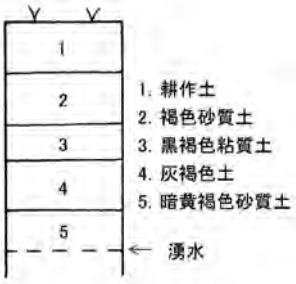
【調査】 対象地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】

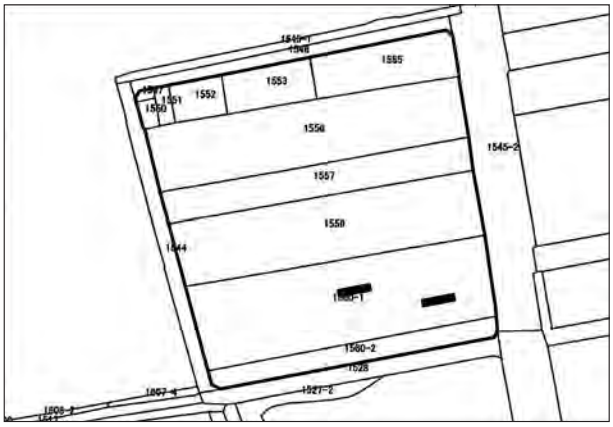
遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。



第７図　30-2調査地位置図（1/10,000）



第９図　30-2基本土層図（1/30）



第８図　30-2トレンチ配置図（1/2,500）

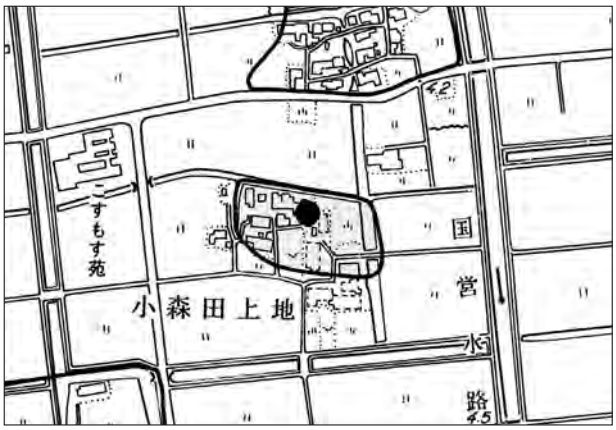
30-3　小森田上地遺跡（0238）

神埼市千代田町用作2330-3、2329

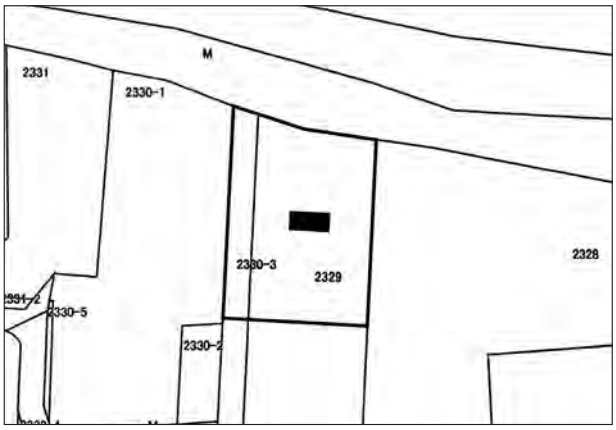
【立地】 弥生時代の散布地である小森田上地遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、遺跡の北部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。



第10図　30-3調査地位置図（1/10,000）



第11図　30-3トレンチ配置図（1/1,000）

第12図　30-3基本土層図（1/30）

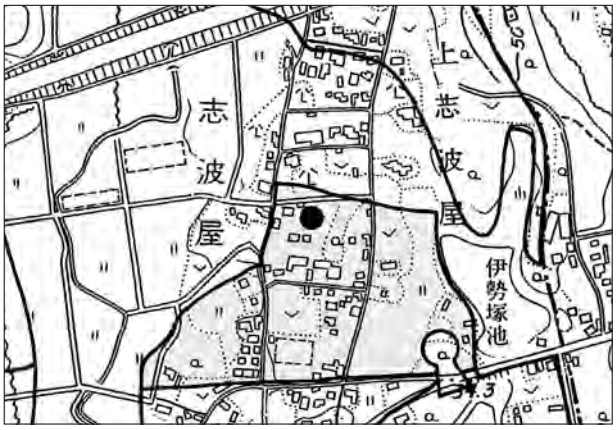
30-4　志波屋四本松遺跡（0076）

神埼市神埼町志波屋2214の一部

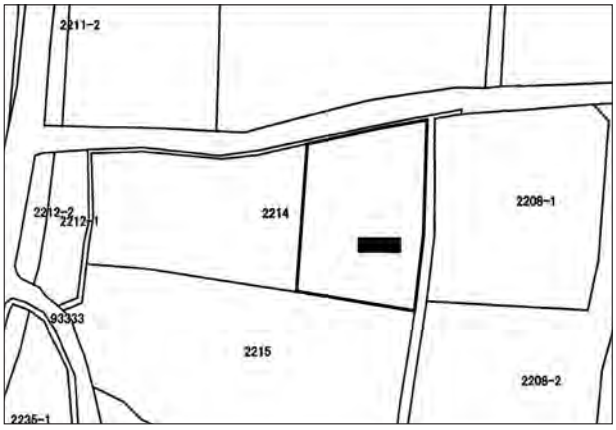
【立地】 弥生時代から古墳時代までの散布地である志波屋四本松遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の北部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

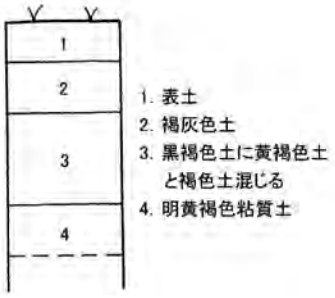
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。



第13図　30-4調査地位置図（1/10,000）



第14図　30-4トレンチ配置図（1/1,000）



第15図　30-4基本土層図（1/30）

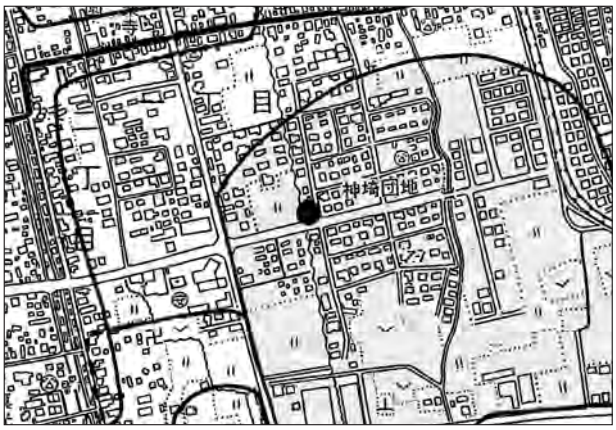
30-5　本堀朝日遺跡（0221）

神埼市神埼町本堀3150-12

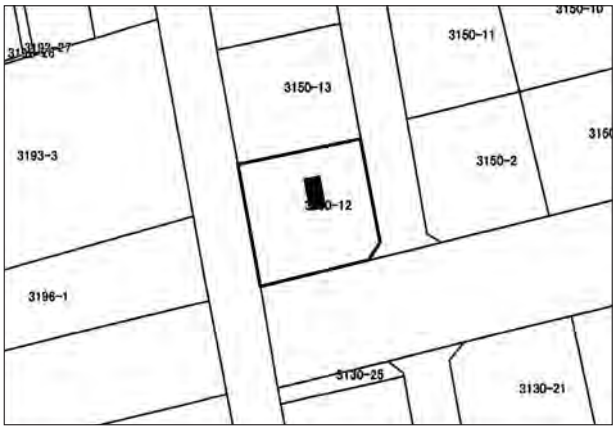
【立地】　弥生時代から中世の散布地である本堀朝日遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北西部に位置する。

【調査】　対象地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】　遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。



第16図　30-5調査地位置図（1/10,000）



第17図　30-5トレンチ配置図（1/1,000）

第18図　30-5基本土層図（1/50）

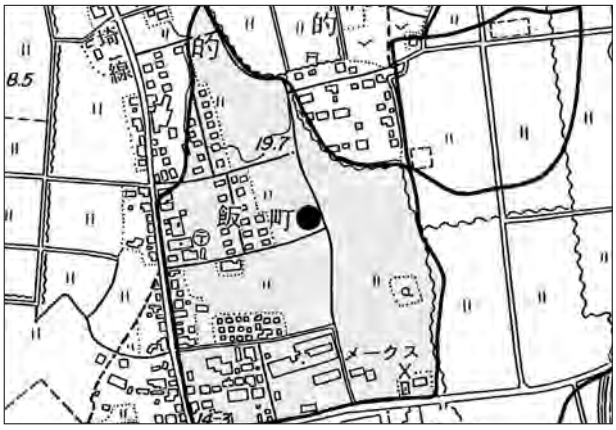
30-6　的五本黒木遺跡（0065）

神埼市神埼町的370-1

【立地】　弥生時代から古墳時代の集落跡である的五本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の中央部に位置する。

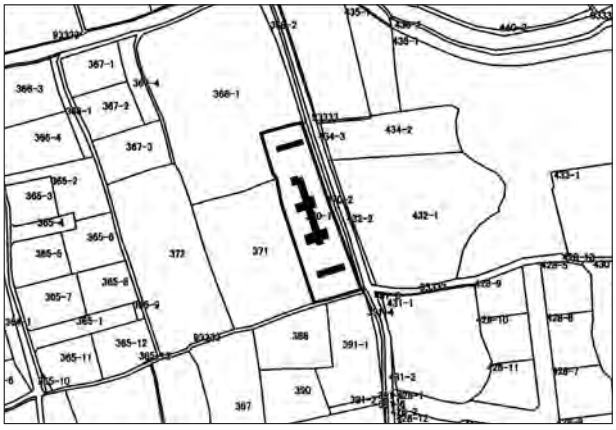
【調査】　対象地内にトレンチを３カ所設定し、適宜拡張を行いながら確認調査を行った。遺構としては小穴や土坑を検出し、遺物は弥生土器が出土した。

【所見】　開発者と工法の協議を行い、遺跡に与える影響を少なくすることにより、慎重工事で対処可能とした。浄化槽については、遺跡が確認されていない場所に調整した。



第19図　30-6調査地位置図（1/10,000）

第21図　30-6基本土層図（1/30）



第20図　30-6トレンチ配置図（1/2,500）

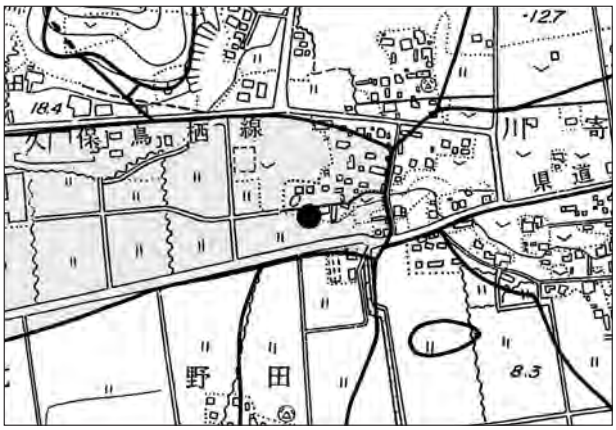
30-7　西田遺跡（0130）

神埼市神埼町城原1099-1

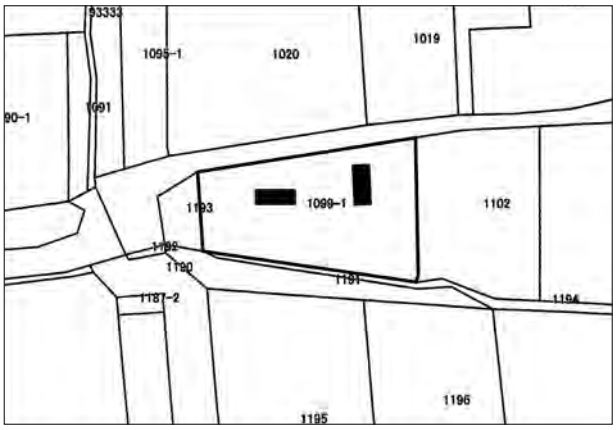
【立地】 弥生時代から古墳時代の散布地である西田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。小穴と溝跡を確認した。

【所見】 盛土をすることで、遺構が破壊されないよう調整したため、慎重工事で対処可能とした。



第22図　30-7調査地位置図（1/10,000）



第23図　30-7トレンチ配置図（1/1,000）

第24図　30-7基本土層図（1/50）

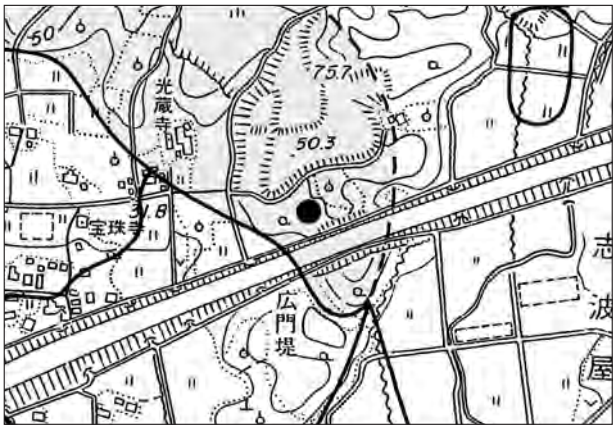
30-8　花浦古墳群（0038）

神埼市神埼町志波屋2563-1、2565-22

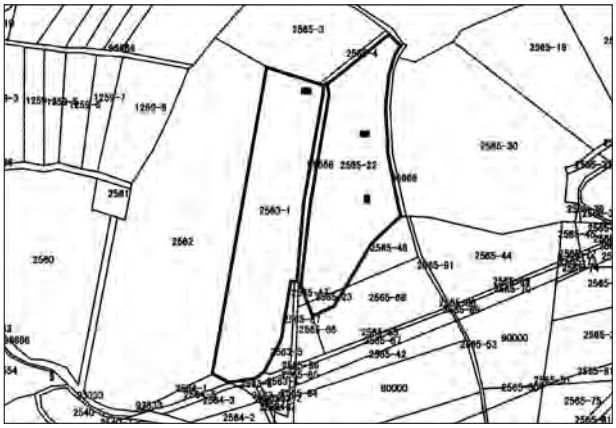
【立地】 弥生時代の散布地、古墳時代の古墳である花浦古墳群は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の南部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを３カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 土坑のようなものを確認したが、遺構と断定できるものではなく比較的新しいものであると考えられる。ほとんどが削平されており、遺跡の存在は認められなかった。



第25図　30-8調査地位置図（1/10,000）



第26図　30-8トレンチ配置図（1/2,500）

第27図　30-8基本土層図（1/30）

30-9　未周知（佐賀県農協新店舗）

神埼市神埼町田道ヶ里2691-1　外3筆

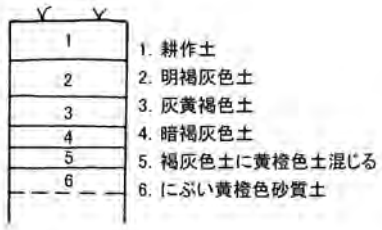
【立地】 調査地は神埼市中部の神埼町に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを８カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 砂層が認められたため、城原川及び馬場川の氾濫原であると考えられる。遺構・遺物ともに認められなかったので、工事に支障なし。

第28図　30-9調査地位置図（1/10,000）

第29図　30-9トレンチ配置図（1/2,500）



第30図　30-9基本土層図（1/30）

30-10　柏原四の割遺跡（0036）

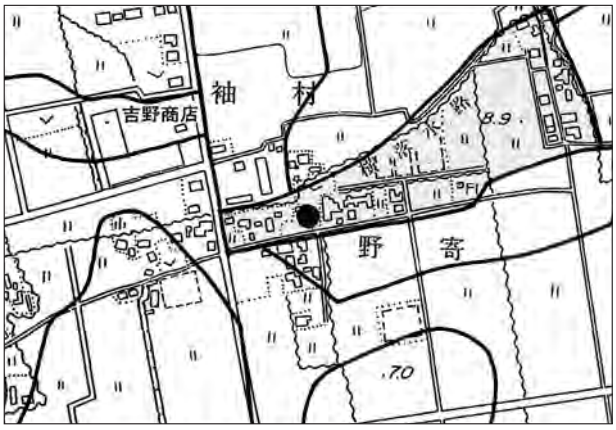
神埼市神埼町竹3583

【立地】 弥生時代の散布地である柏原四の割遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

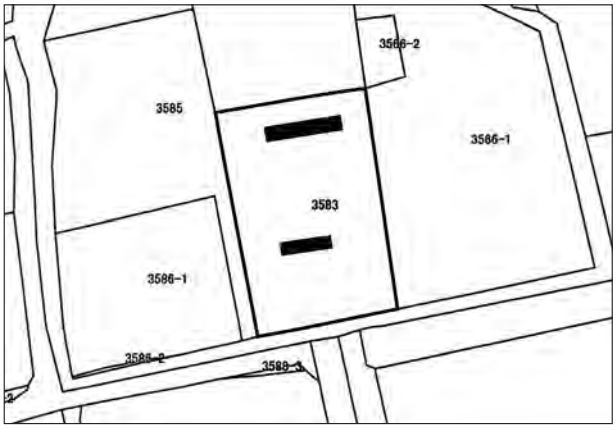
【調査】 対象地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 近くに住んでいる方から、以前開発地が池として利用されていることを伺った。

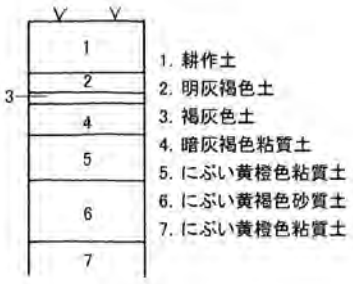
調査結果から砂が出てきていることから、池であった可能性が高いと考えられる。遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第31図　30-10調査地位置図（1/10,000）



第32図　30-10トレンチ配置図（1/1,000）



第33図　30-10基本土層図（1/30）

30-11　下直鳥遺跡（0205）

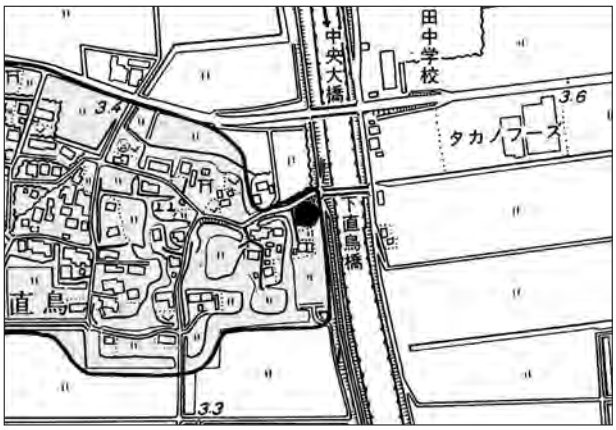
神埼市千代田町直鳥1275-1　外2筆

【立地】　弥生時代の貝塚と弥生時代及び中世の集落跡である下直鳥遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

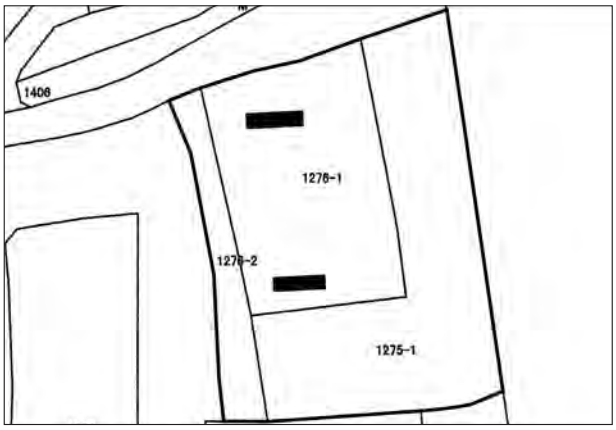
【調査】　平成29年度に確認調査を実施しているが、家を解体したのを機会に、家が建っていた部分を調査した。対象地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。近代の掘りこみと思われるものを確認した。遺物は弥生土器が出土した。

【所見】　遺物は出土したが、遺構に伴うものではなく、丸みを帯びていることなどから城原川の氾濫原であった可能性が考えられる。

第36図　30-11基本土層図（1/30）



第34図　30-11調査地位置図（1/10,000）



第35図　30-11トレンチ配置図（1/1,000）

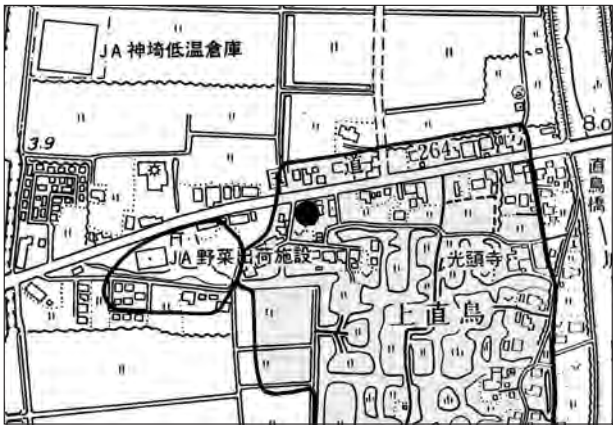
30-12　直鳥城跡（0200）

神埼市千代田町直鳥438-1

【立地】　中世の城館跡である直鳥城跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の北西部に位置する。

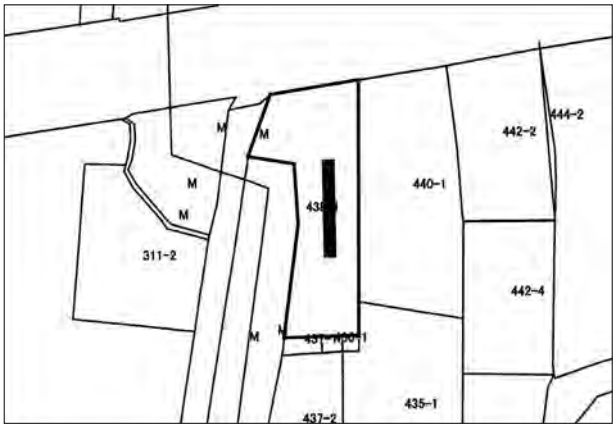
【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】　遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第37図　30-12調査地位置図（1/10,000）

第39図　30-12基本土層図（1/30）



第38図　30-12トレンチ配置図（1/1,000）

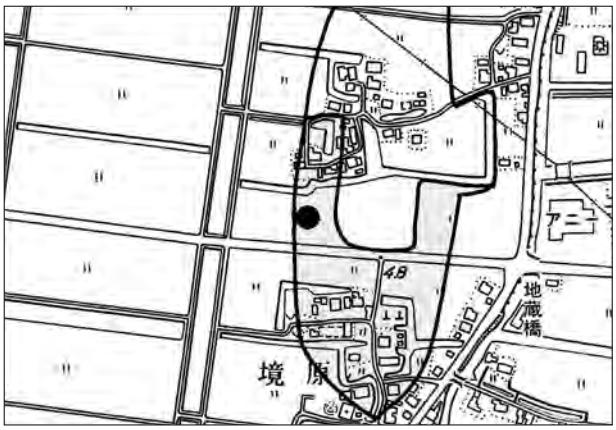
30-13　境原四本松遺跡（0195）

神埼市千代田町境原488、489

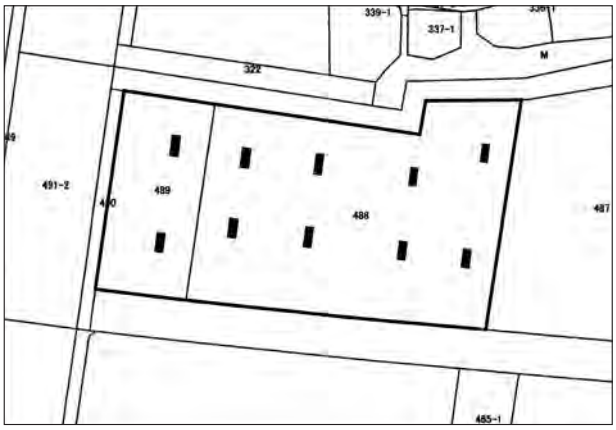
【立地】　弥生時代と中世の散布地である境原四本松遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを10カ所設定し、確認調査を行った。

【所見】　一部掘りこみが認められたが、近代以降のものであると判断した。その他、遺構・遺物は認められなかったため、工事に支障なし。



第40図　30-13調査地位置図（1/10,000）



第41図　30-13トレンチ配置図（1/2,500）

第42図　30-13基本土層図（1/30）

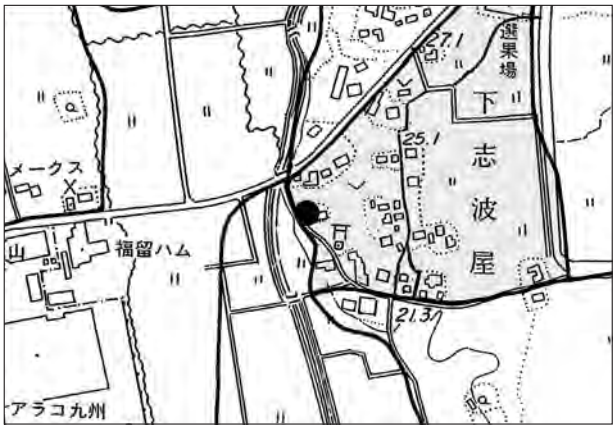
30-14　志波屋二本松（乙）遺跡（0079）

神埼市神埼町志波屋1819-7

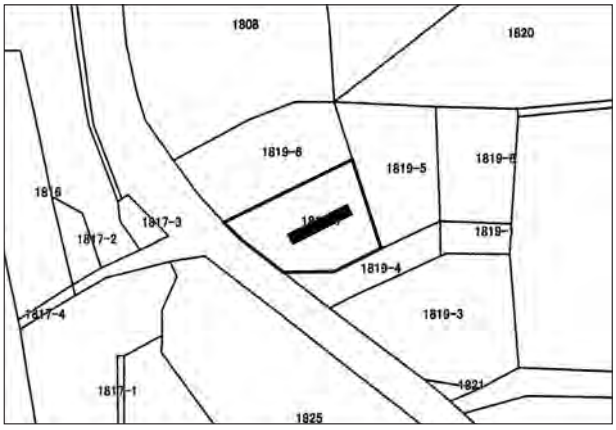
【立地】　縄文時代から古墳時代の散布地である志波屋二本松（乙）遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

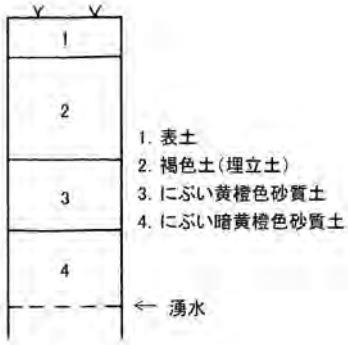
【所見】　遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第43図　30-14調査地位置図（1/10,000）



第44図　30-14トレンチ配置図（1/1,000）



第45図　30-14基本土層図（1/30）

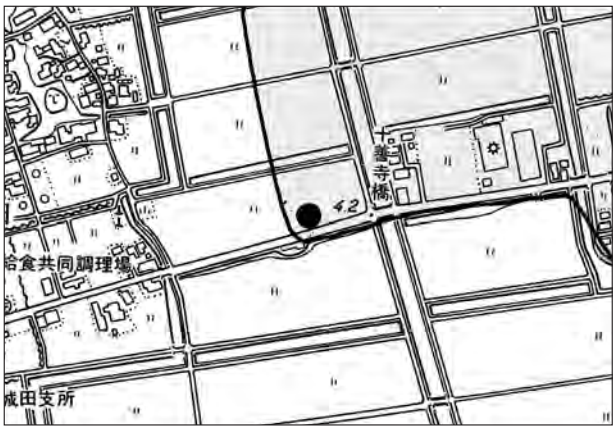
30-15　詫田西分遺跡（0231）

神埼市千代田町嘉納1159-1

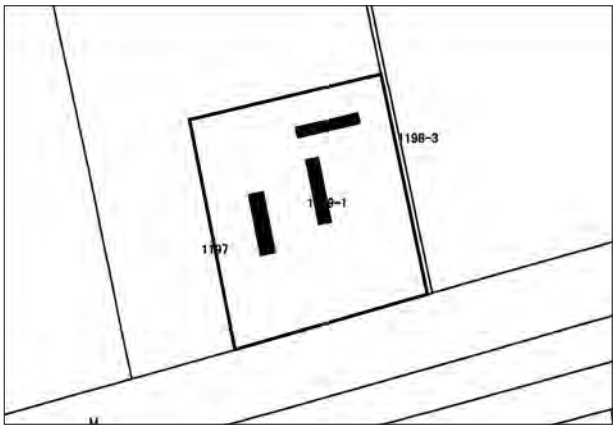
【立地】 弥生時代から中世までの散布地、集落跡、貝塚、墳墓である詫田西分遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを３カ所設定し、確認調査を行った。摩耗した弥生土器が出土した。

【所見】 弥生土器は別の場所からの流れ込みであり、遺構は確認されなかったことから工事に支障なし。



第46図　30-15調査地位置図（1/10,000）



第47図　30-15トレンチ配置図（1/1,000）

第48図　30-15基本土層図（1/30）

30-16　神埼宿遺跡（0167）

神埼市神埼町神埼308-1

【立地】 奈良時代の集落跡と中世の散布地と近世の宿場町である神埼宿遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の中部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。埋め立ての際に流れ込んだと考えられる瓦片や陶磁器片が出土した。

【所見】 遺物はいずれも近現代のものと考えられ、遺構も確認できなかったことから、工事に支障なし。

第49図　30-16調査地位置図（1/10,000）

第51図　30-16基本土層図（1/30）

第50図　30-16トレンチ配置図（1/1,000）

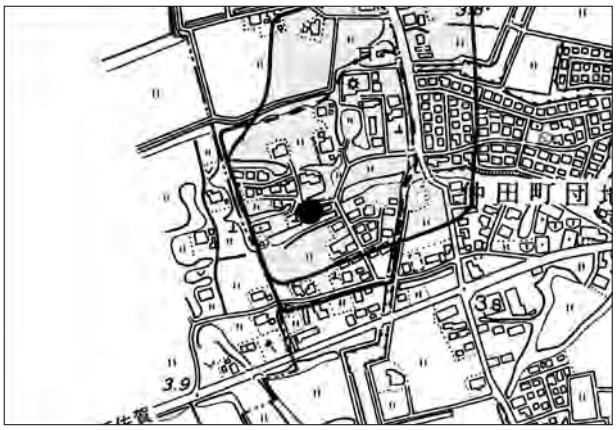
30-17　貴別当神社遺跡（0203）

神埼市千代田町下西572-1、569-1の一部

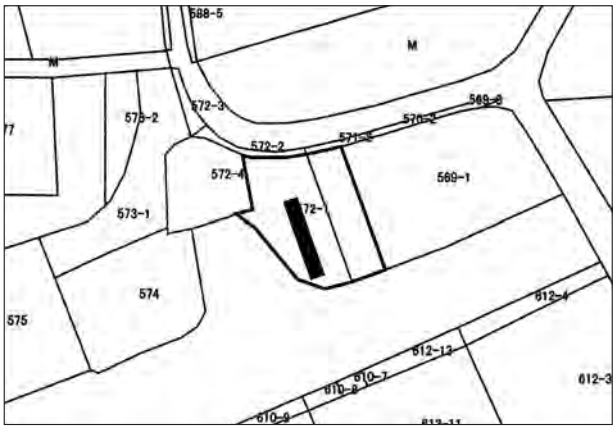
【立地】 弥生時代と中世、近世の集落跡、弥生時代の墳墓である貴別当神社遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。小穴１基と小穴から弥生土器が出土した。小穴を掘り下げると腐敗した木材が確認された。

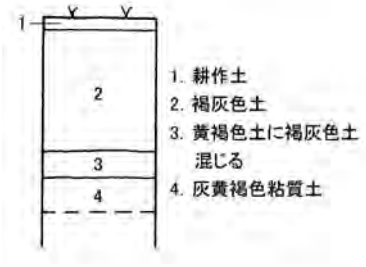
【所見】 盛土を行い、遺構面に影響がないよう工法を調整したため慎重工事で対処可能とした。



第52図　30-17調査地位置図（1/10,000）



第53図　30-17トレンチ配置図（1/1,000）



第54図　30-17基本土層図（1/30）

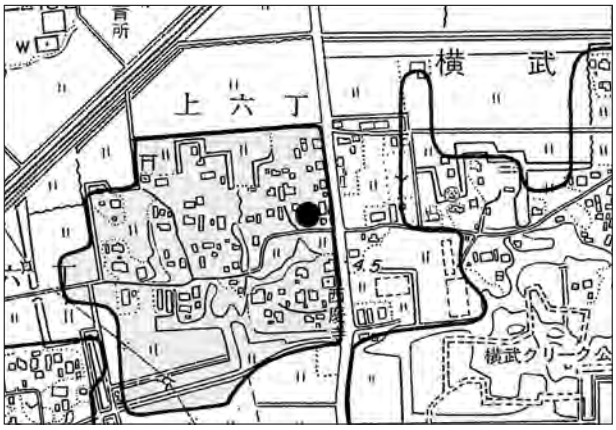
30-18　上六丁遺跡（0171）

神埼市神埼町横武1165-1

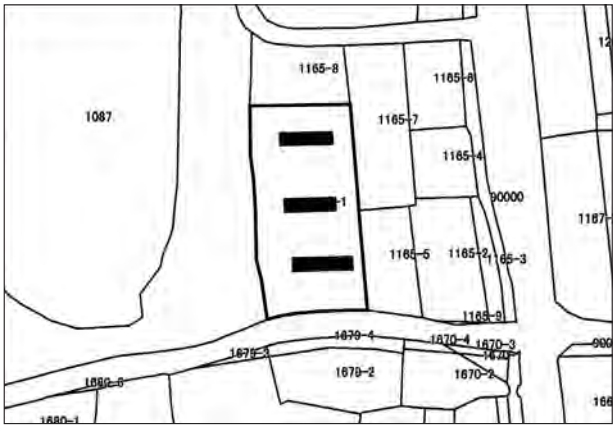
【立地】 中世から近世の集落跡、中世の城館跡である上六丁遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを３カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

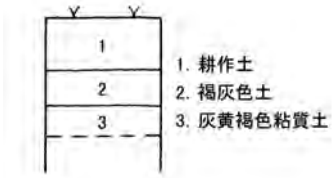
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第55図　30-18調査地位置図（1/10,000）



第56図　30-18トレンチ配置図（1/1,000）



第57図　30-18基本土層図（1/30）

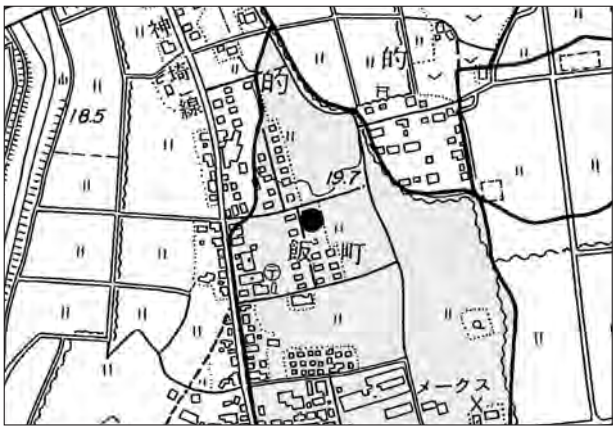
30-19　的五本黒木遺跡（0065）

神埼市神埼町的366-1、366-4

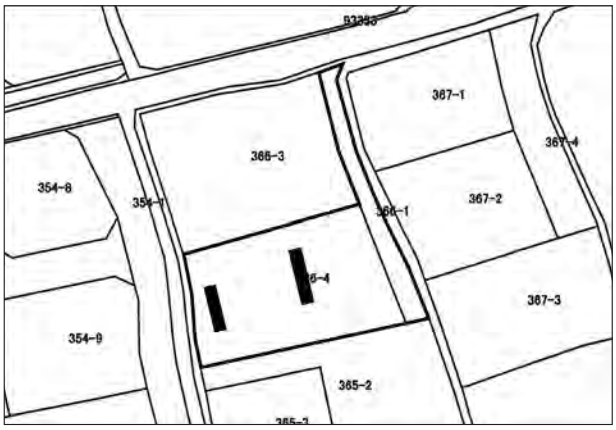
【立地】　弥生時代から古墳時代の集落跡である的五本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北西部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構は存在せず、摩耗した弥生土器が出土した。

【所見】　遺構は存在せず、出土した遺物は別の場所からの流れ込みであると考えられるため、工事に支障なし。



第58図　30-19調査地位地図（1/10,000）



第59図　30-19トレンチ配置図（1/1,000）

第60図　30-19基本土層図（1/30）

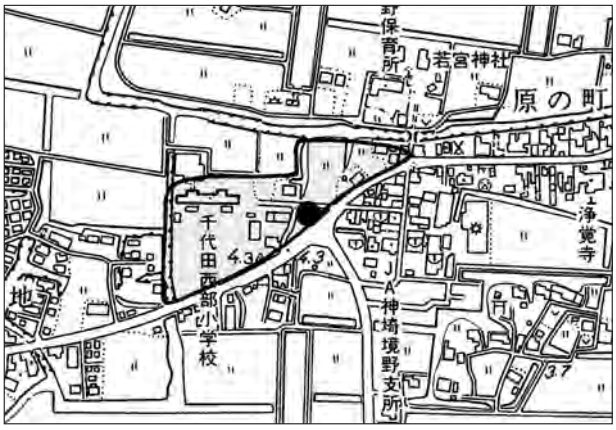
30-20　原の町西遺跡（0204）

神埼市千代田町境原827

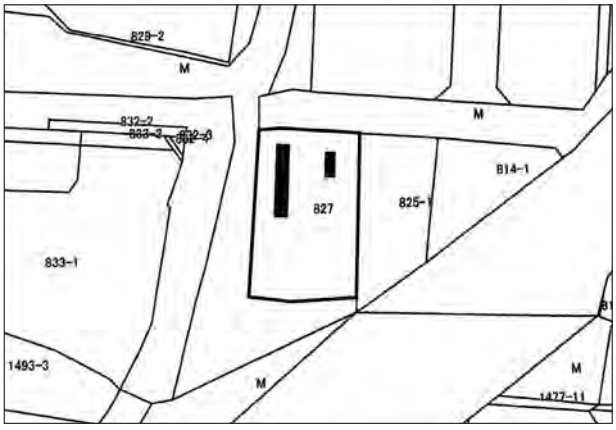
【立地】　中世の集落跡、近世の散布地である原の町西遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の中央に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。調査地西側から陶器や磁器、古銭（解読不明）が出土した。遺構は認められなかった。

【所見】　調査により西側は以前堀があったと考えられる。東側では地山に到達したが、遺構・遺物は認められなかった。また開発内容においても、影響がないため慎重工事で対処可能とした。



第61図　30-20調査地位置図（1/10,000）



第62図　30-20トレンチ配置図（1/1,000）

第63図　30-20基本土層図（1/30）

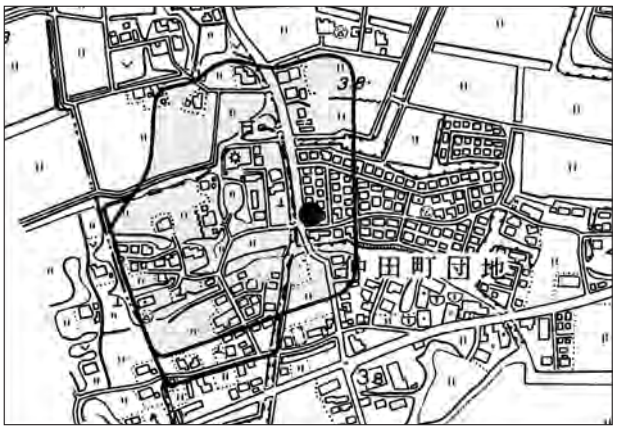
30-21　貴別当神社遺跡（0203）

神埼市千代田町下西521-23、521-31

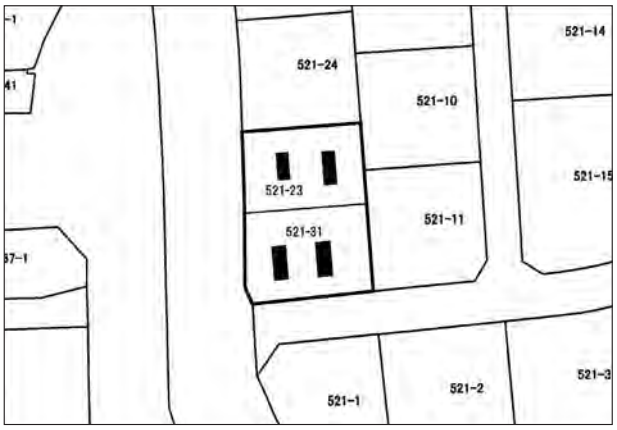
【立地】 弥生時代と中世、近世の集落跡と弥生時代の墳墓である貴別当神社遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを４カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第64図　30-21調査地位置図（1/10,000）



第65図　30-21トレンチ配置図（1/1,000）

第66図　30-21基本土層図（1/30）

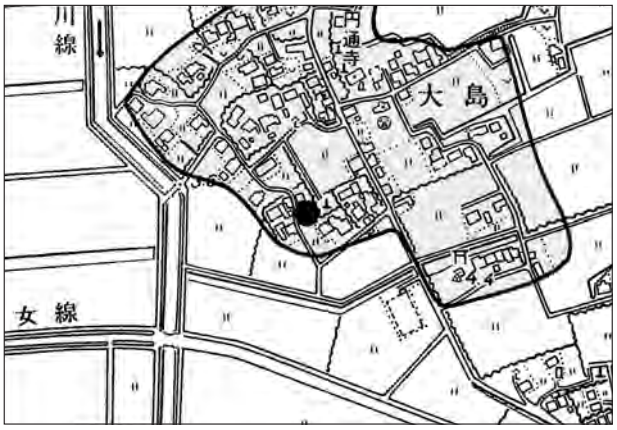
30-22　大島環濠集落（0243）

神埼市千代田町柳島1703-9

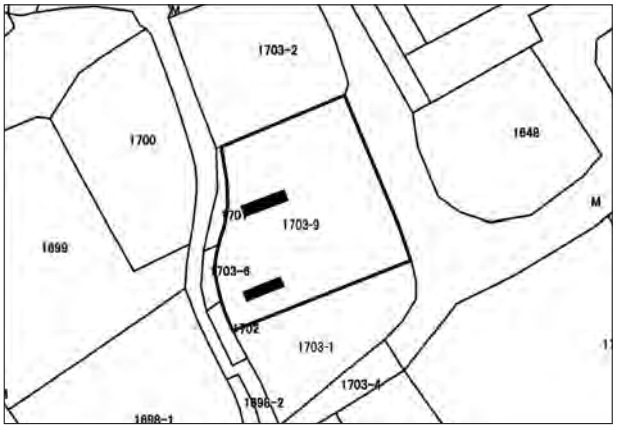
【立地】 中世の城館跡と中世から近世の集落跡である大島環濠集落は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。土師器の鉢が出土した。遺構は認められなかった。

【所見】 遺構に伴う遺物は認められなかったため工事に支障なし。



第67図　30-22調査地位置図（1/10,000）



第68図　30-22トレンチ配置図（1/1,000）

第69図　30-22基本土層図（1/30）

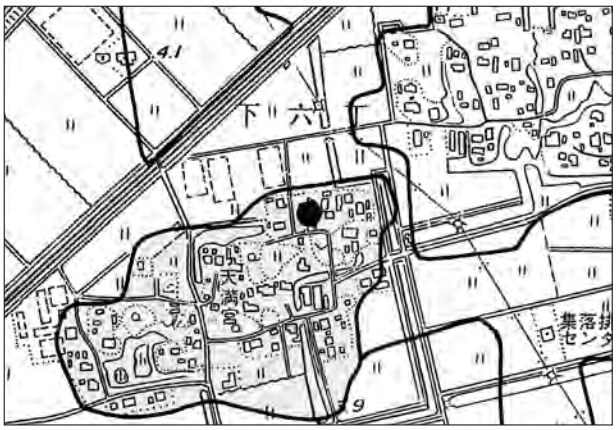
30-23　下六丁遺跡（0168）

神埼市神埼町横武1785

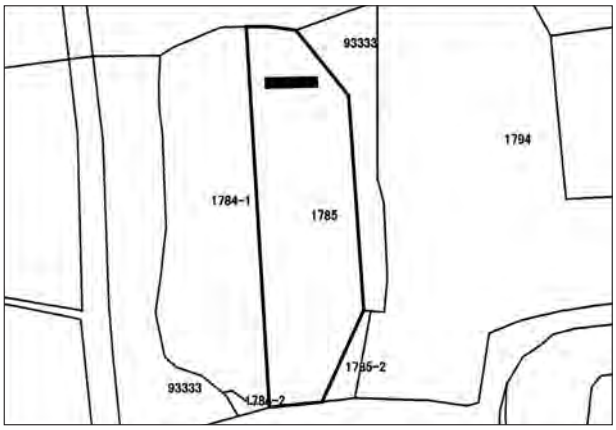
【立地】 中世から近世の集落跡である下六丁遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第70図　30-23調査地位置図（1/10,000）



第71図　30-23トレンチ配置図（1/1,000）

第72図　30-23基本土層図（1/30）

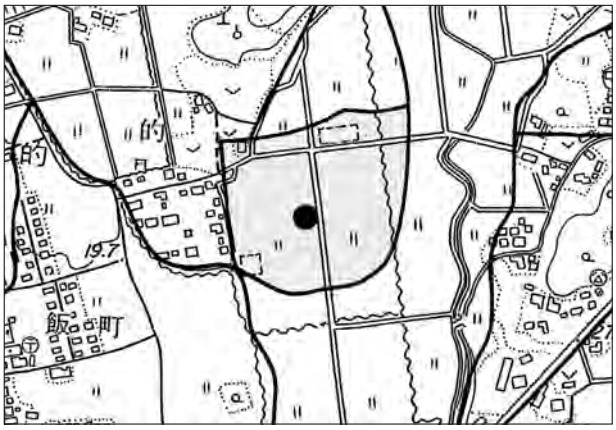
30-24　志波屋一本松遺跡（0075）

神埼市神埼町志波屋地内

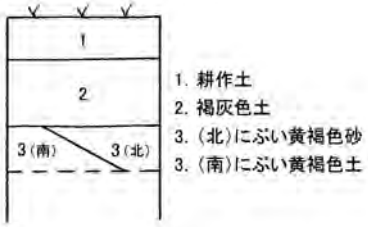
【立地】 弥生時代から古墳時代の散布地である志波屋一本松遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の中央部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを７カ所設定し、確認調査を行った。一部で比較的新しい時代の土坑を検出した。また耕作土と造成土の間で須恵器が出土した。

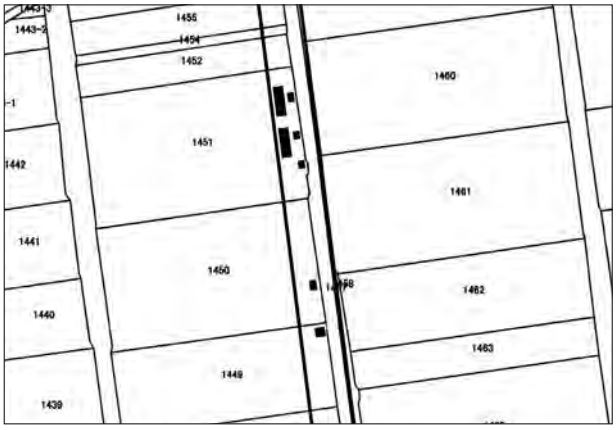
【所見】 土坑が検出された周辺では工事立会を行い、そのほかの場所については慎重工事で対処可能とした。



第73図　30-24調査地位置図（1/10,000）



第75図　30-24基本土層図（1/30）



第74図　30-24トレンチ配置図（1/2,500）

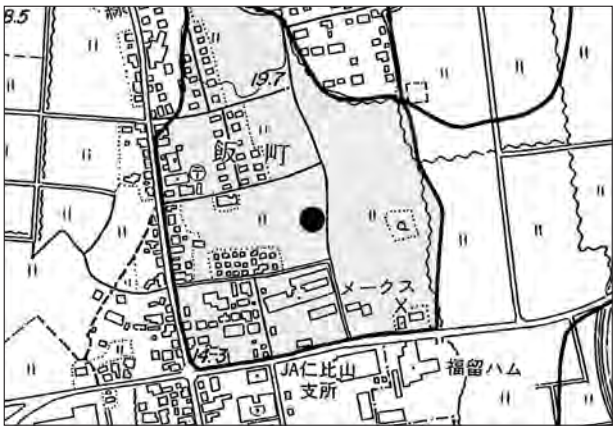
30-25　的五本黒木遺跡（0065）

神埼市神埼町的391-3、392-2

【立地】 弥生時代から古墳時代の集落跡である的五本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の中央部に位置する。

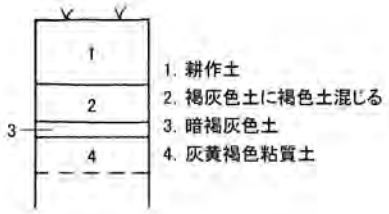
【調査】 調査地内にトレンチを７カ所設定し、確認調査を行った。西側で土坑や小穴を検出し、遺物は弥生土器や石包丁が出土した。

【所見】 遺跡を確認したため、開発者と工法の協議を行い、遺跡に与える影響を小さくすることにより、慎重工事で対処可能とした。



第76図　30-25調査地位置図（1/10,000）

第77図　30-25トレンチ配置図（1/2,500）



第78図　30-25基本土層図（1/30）

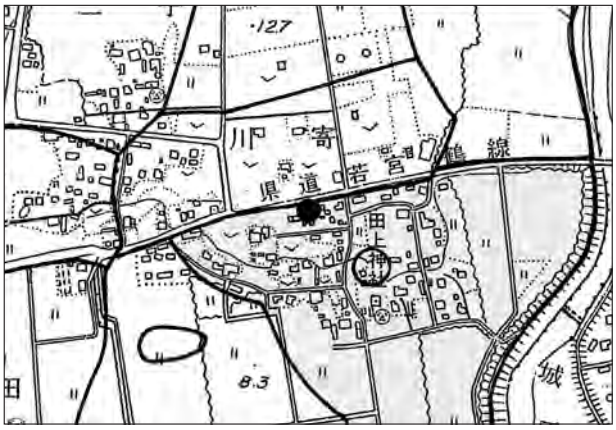
30-26　川寄若宮遺跡（0143）

神埼市神埼町竹361-1、361-4

【立地】 弥生時代の墳墓と集落跡、古墳時代と中世の散布地である川寄若宮遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の西部に位置する。

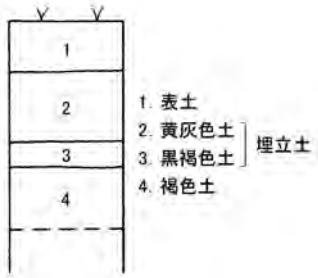
【調査】 調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。小穴を３基検出した。

【所見】 遺構が確認されたが、開発による掘削で遺構面まで至らないため、慎重工事で対処可能とした。



第79図　30-26調査地位置図（1/10,000）

第80図　30-26トレンチ配置図（1/1,000）



第81図　30-26基本土層図（1/30）

30-27　野田遺跡（0134）

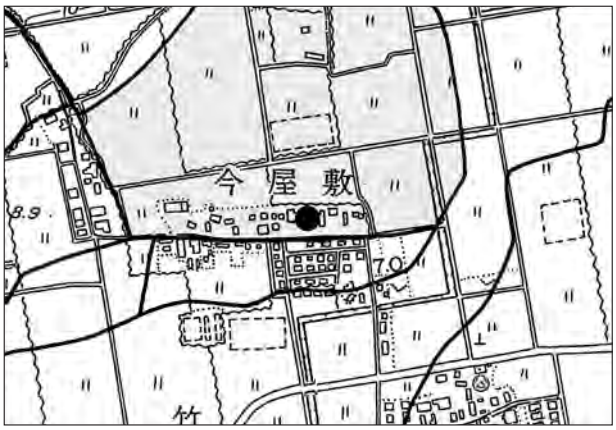
神埼市神埼町竹1633-1

【立地】 弥生時代と奈良時代から中世までの散布地である野田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

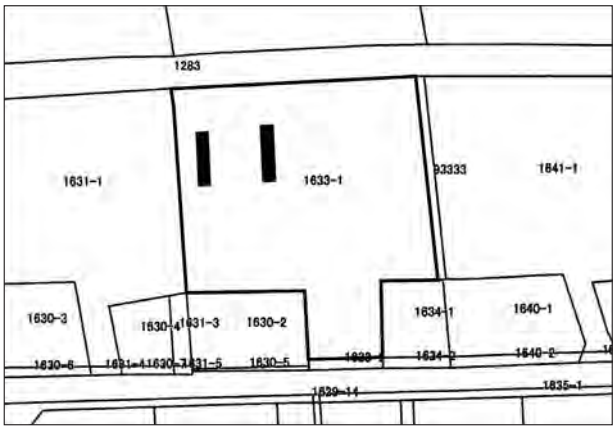
【調査】 調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】

遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第82図　30-27調査地位置図（1/10,000）



第83図　30-27トレンチ配置図（1/1,000）

第84図　30-27基本土層図（1/30）

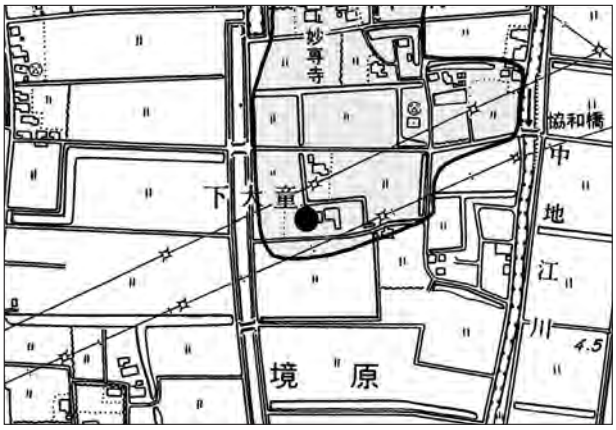
30-28　下犬童環濠集落（0190）

神埼市千代田町境原1637

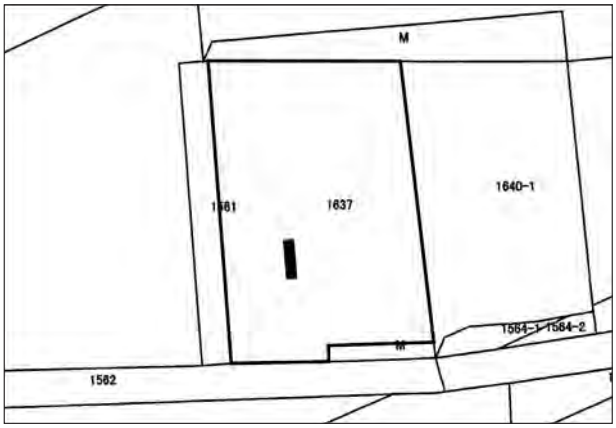
【立地】 中世の散布地と中世から近世の集落跡である下犬童環濠集落は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。土製の鉢と陶器片が出土し、遺構は認められなかった。

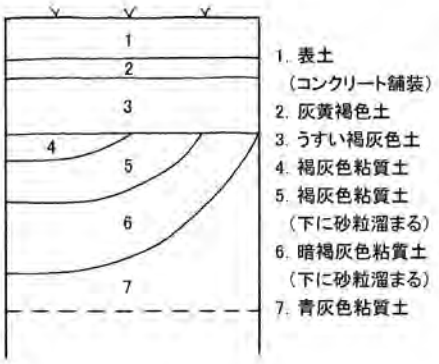
【所見】 遺物は別の場所からの流れ込みであると考えられるため、慎重工事で対処可能とした。



第85図　30-28調査地位置図（1/10,000）



第86図　30-28トレンチ配置図（1/1,000）



第87図　30-28基本土層図（1/30）

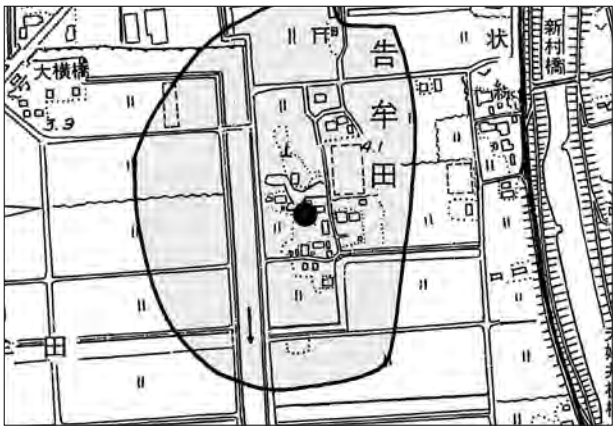
30-29　本告牟田遺跡（0180）

神埼市神埼町本告牟田1959

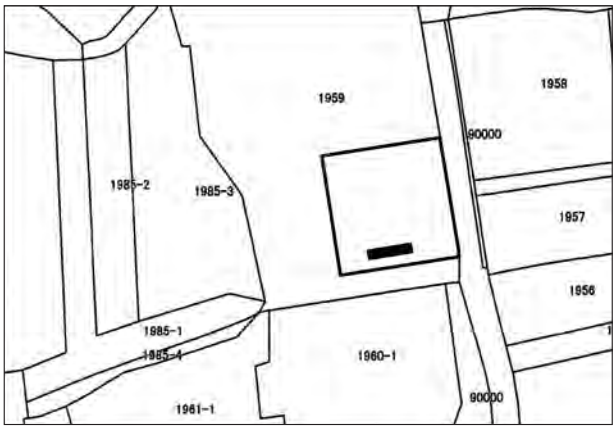
【立地】　中世から近世の集落跡である本告牟田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の中央に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構はなく、摩耗した土師器や磁器片が出土した。また植物遺体も確認された。

【所見】　植物遺体が確認されたことから、開発地は湿地帯であったと考えられる。また遺物も別の場所からの流れ込みであると考えられることから工事に支障なし。



第88図　30-29調査地位置図（1/10,000）



第89図　30-29トレンチ配置図（1/1,000）

第90図　30-29基本土層図（1/30）

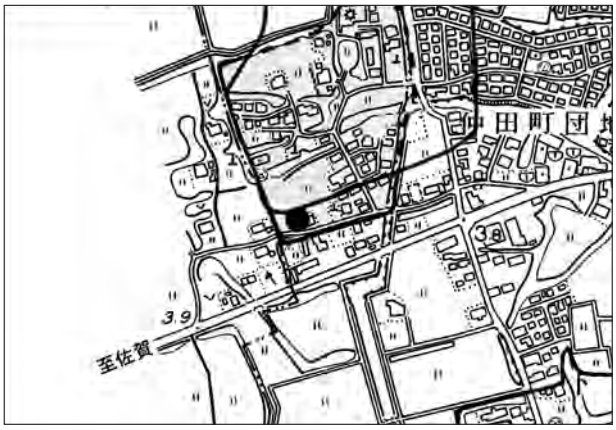
30-30　仲田町環濠集落（0202）

神埼市千代田町下西606

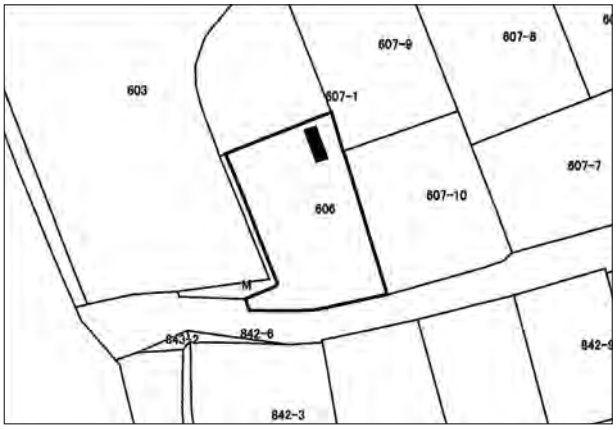
【立地】　中世から近世までの集落跡である仲田町環濠集落は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内のやや南西部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構なし、弥生土器小片が出土。

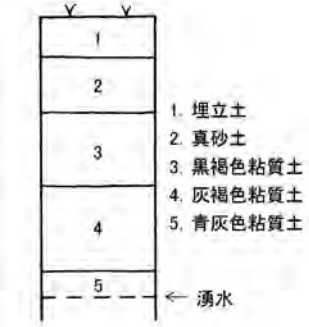
【所見】　遺構に伴う遺物は認められなかったため、工事に支障なし。



第91図　30-30調査地位置図（1/10,000）



第92図　30-30トレンチ配置図（1/1,000）



第93図　30-30基本土層図（1/30）

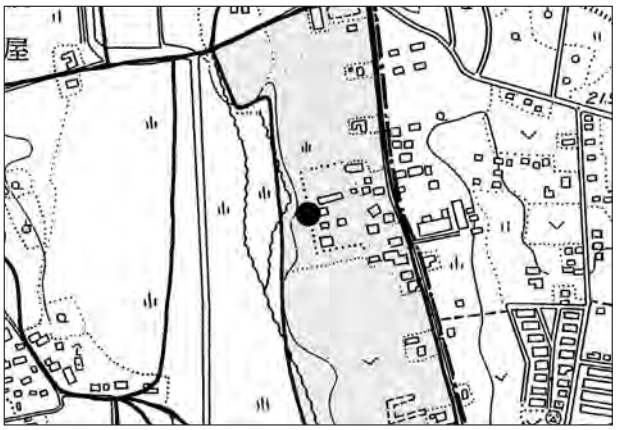
30-31　志波屋五の坪遺跡（0086）

神埼市神埼町志波屋626-2

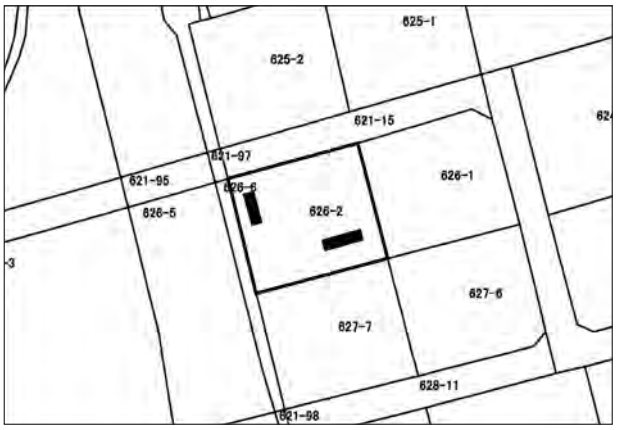
【立地】 旧石器時代から古墳時代の散布地である志波屋五の坪遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の中央部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第94図　30-31調査地位置図（1/10,000）



第95図　30-31トレンチ配置図（1/1,000）

第96図　30-31基本土層図（1/50）

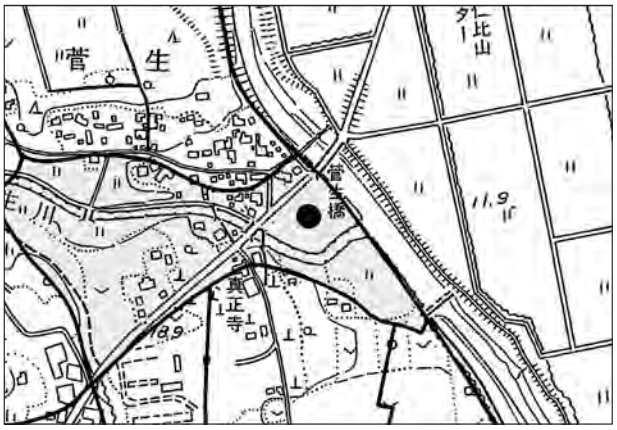
30-32　城原四本谷遺跡（0104）

神埼市神埼町城原1888-1　外4筆

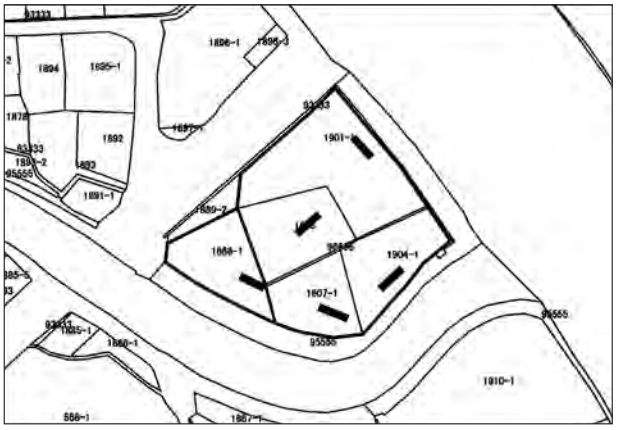
【立地】 旧石器時代から中世の散布地である城原四本谷遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを５カ所設定し、確認調査を行った。一部で摩耗した弥生土器が出土した。

【所見】 開発地全体で砂層が認められたことから城原川の氾濫原であったと考えられる。したがって工事に支障なし。



第97図　30-32調査地位置図（1/10,000）



第98図　30-32トレンチ配置図（1/2,500）

第99図　30-32基本土層図（1/30）

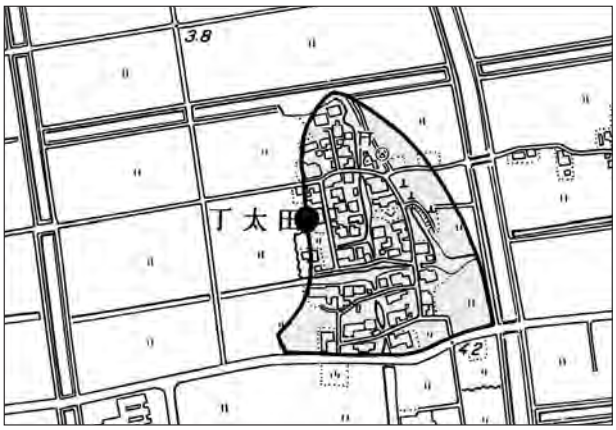
30-33　丁太田遺跡（0237）

神埼市千代田町詫田1206-2

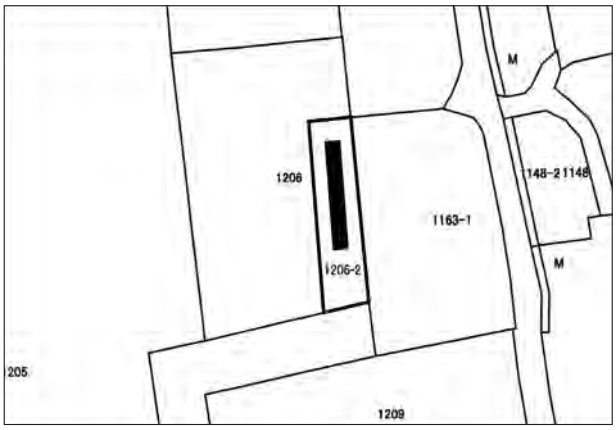
【立地】 弥生時代の散布地である丁太田遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地はその遺跡内の西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

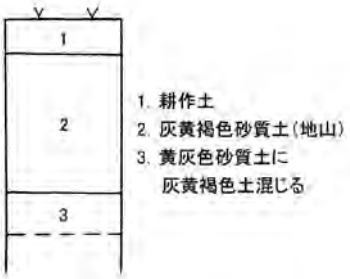
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第100図　30-33調査地位置図（1/10,000）



第101図　30-33トレンチ配置図（1/1,000）



第102図　30-33基本土層図（1/30）

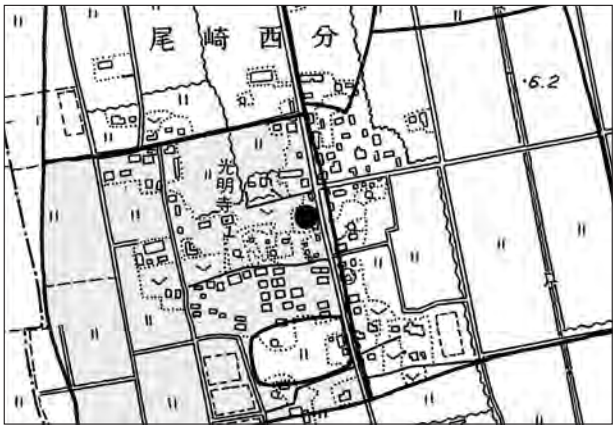
30-34　尾崎利田遺跡（0147）

神埼市神埼町尾崎554の一部

【立地】 弥生時代と奈良時代から中世の散布地、古墳時代の集落跡である尾崎利田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の北東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを２カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第103図　30-34調査地位置図（1/10,000）

第104図　30-34トレンチ配置図（1/1,000）

第105図　30-34基本土層図（1/30）

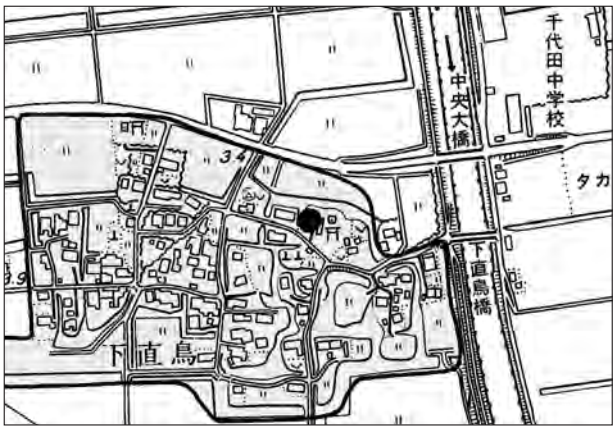
30-35　下直鳥遺跡（0205）

神埼市千代田町直鳥1231、1231地先

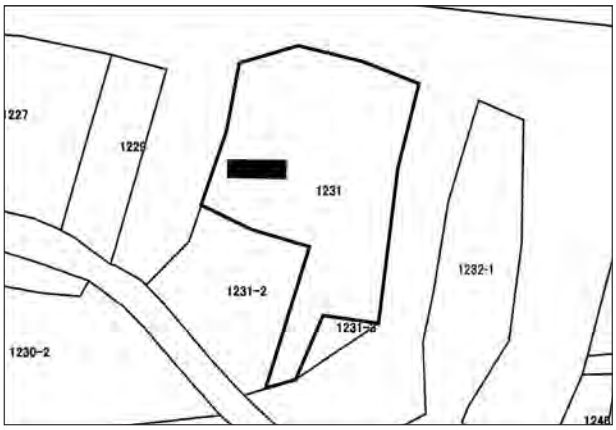
【立地】　弥生時代の貝塚と弥生時代と中世の集落跡である下直鳥遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地はその遺跡内の東部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構はなく牡蠣殻や高坏、弥生土器が出土した。

【所見】　牡蠣殻や遺物は別の場所からの流れ込みであると考えられるため、慎重工事で対処可能とした。



第106図　30-35調査地位置図（1/10,000）



第107図　30-35トレンチ配置図（1/1,000）

第108図　30-35基本土層図（1/30）

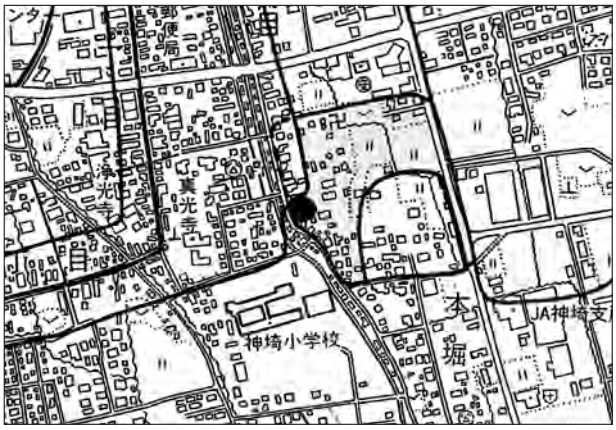
30-36　本堀町裏遺跡（0219）

神埼市神埼町238、237-2

【立地】　平安時代の散布地と中世の集落跡である本堀町裏遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の西部に位置する。

【調査】　調査地内にトレンチを１カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

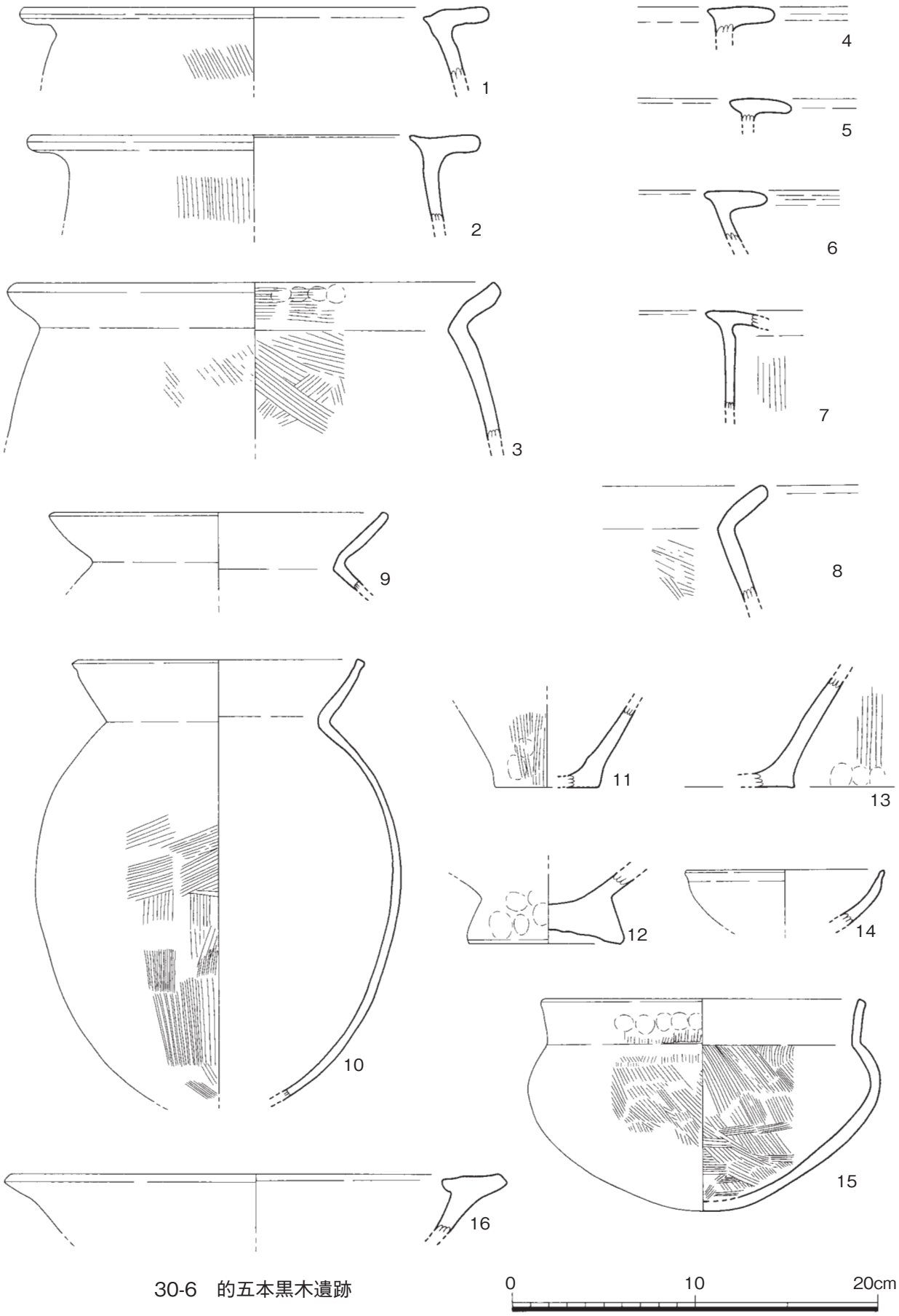
【所見】　遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



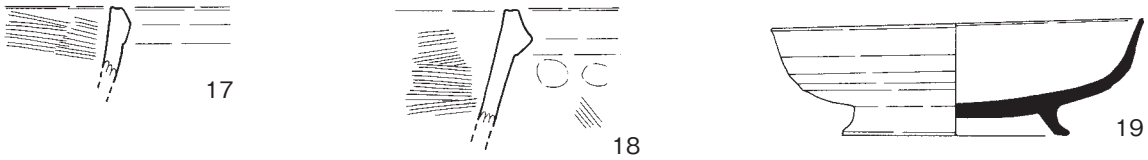
第109図　30-36調査地位置図（1/10,000）

第110図　30-36トレンチ配置図（1/1,000）

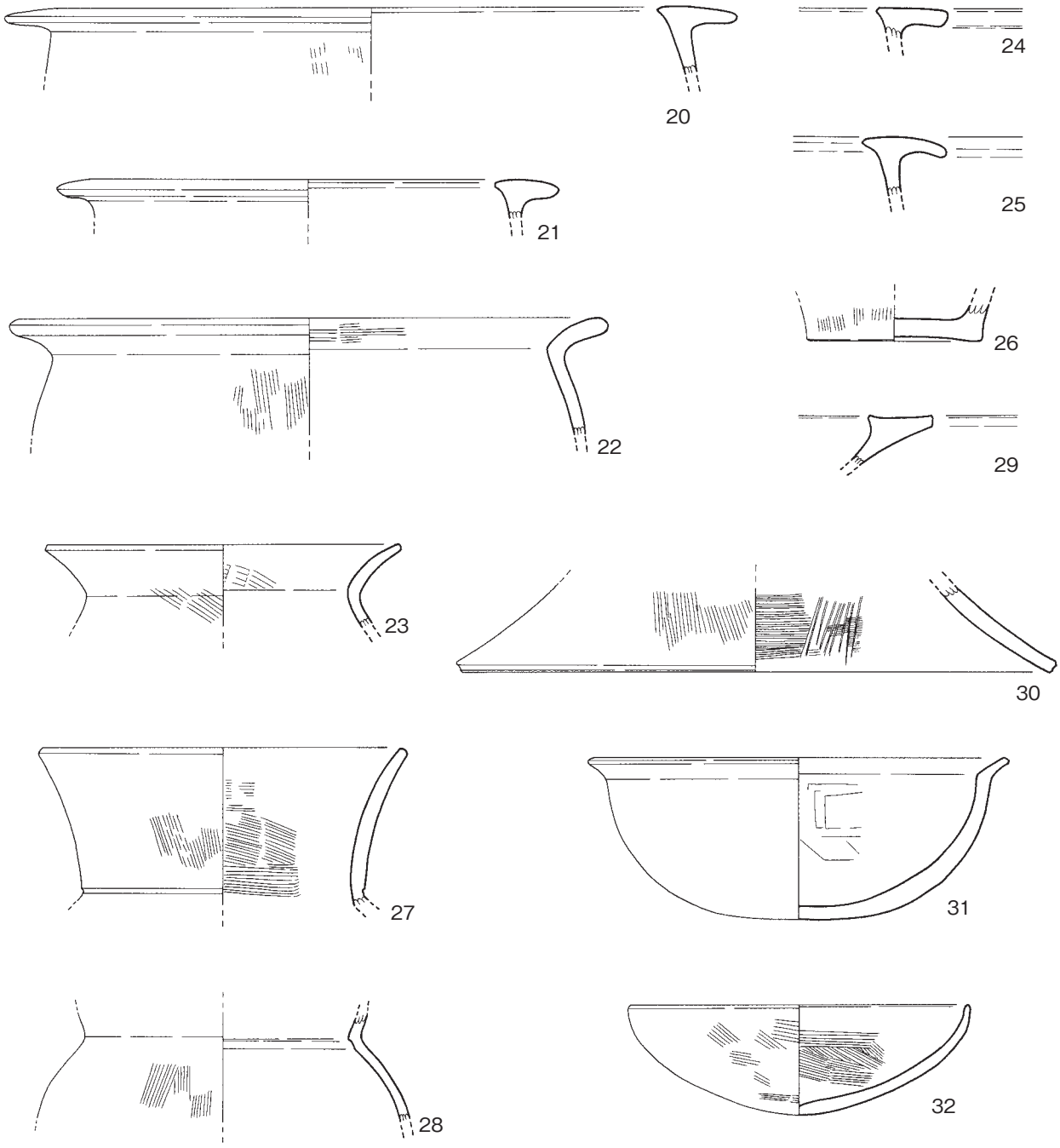
第111図　30-36基本土層図（1/50）



第112図　出土遺物実測図（1/3）



30-24　志波屋一本松遺跡



30-25　的五本黒木遺跡

第113図　出土遺物実測図（1/3）

第2表　平成30年度確認調査地出土遺物観察表

挿図番号	調査番号	遺跡名	出土トレンチ	種別	器種	法量（cm）			胎土	色調	調整	備考	登録番号
						口径	底径	器高					
112図1	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	(25.6)	—	—	細砂粒～1.5㎜程の砂粒多く含む	外：にぶい橙　7.5YR7/3 内：明赤褐　2. 5YR5/6	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0013
112図2	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	(24.7)	—	—	2㎜程の砂粒含む	橙　7.5YR7/6	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0018
112図3	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	(27)	—	—	砂粒含む	外：にぶい橙　5YR6/3 内：にぶい橙　5YR7/3	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾊｹﾒ、指頭圧痕		カ1806-0019
112図4	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒含む	浅黄橙　7.5YR8/3	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0001
112図5	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	1～3㎜程の砂粒含む	橙　7.5YR6/6	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0014
112図6	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒含む	外：淡橙　5YR8/3 内：にぶい橙　5YR6/3	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0002
112図7	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	1㎜程の砂粒を多く含む	橙　5YR6/6	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1806-0003
112図8	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒～1.5㎜程の砂粒多く含む	外：灰オリーブ　5Y4/2 内：にぶい橙　7.5YR6/4	外：ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ	口縁部のみ 外面摩耗	カ1806-0020
112図9	30-6	的五本黒木遺跡	№2	土師器	甕	(18.5)	—	—	細砂粒含む	外：にぶい黄橙 10YR7/3 内：にぶい黄橙 10YR6/3	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0004
112図10	30-6	的五本黒木遺跡	№2	土師器	甕	(16)	—	—	1～2㎜程の砂粒含む	外：にぶい褐　7.5YR6/3 内：にぶい橙　7.5YR6/4	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0015
112図11	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	(5.7)	—	細砂粒含む	外：にぶい橙　5YR7/4 内：褐灰　10YR6/1	外：ﾊｹﾒ、ﾅﾃﾞ、指頭圧痕 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0010
112図12	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	8.6	—	1～3㎜程の砂粒含む	外：にぶい橙　5YR7/3 内：オリーブ、黒 5Y7/3	外：指頭圧痕 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0006
112図13	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒、2.5㎜程の砂粒含む	外：褐灰　5YR4/2 内：橙　5YR6/4	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0005
112図14	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	鉢	(10.9)	—	—	1～3㎜程の砂粒含む	外：橙　5YR6/4 内：橙　5YR6/6	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0007
112図15	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	鉢	(17.7)	—	11.5	1～4㎜程の砂粒含む	にぶい橙　2.5YR6/4	外：ﾊｹﾒ、ﾅﾃﾞ、指頭圧痕 内：ﾅﾃﾞ	外面黒変有り	カ1806-0012
112図16	30-6	的五本黒木遺跡	№2	弥生土器	高坏	(27.5)	—	—	1～3㎜程の砂粒含む	にぶい橙　10YR7/2	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ		カ1806-0011
113図17	30-24	志波屋一本松遺跡	№1	土師器	鉢	—	—	—	細砂粒～1㎜程の砂粒多く含む	外：にぶい橙　7.5YR6/4 内：にぶい褐　7.5YR5/3	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾊｹﾒ	口縁部のみ	カ1824-0001
113図18	30-24	志波屋一本松遺跡	№3	土師器	鍋	—	—	—	細砂粒～0.5㎜程の砂粒多く含む	外：暗褐　7.5YR3/3 内：にぶい橙　7.5YR6/4	外：ﾊｹﾒ、ﾅﾃﾞ、指頭圧痕 内：ﾊｹﾒ	口縁部のみ	カ1824-0004
113図19	30-24	志波屋一本松遺跡	№7	須恵器	坏	14.8	9	4.65	細砂粒～1㎜程の砂粒少し含む	黄灰　2.5Y6/1	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ		カ1824-0005
113図20	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	(34.4)	—	—	細砂粒～1㎜程の砂粒多く含む	にぶい黄橙　10YR7/2	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1825-0002
113図21	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	(23.5)	—	—	細砂粒多く含む	にぶい橙　5YR6/4	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1825-0005
113図22	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	(28)	—	—	細砂粒～1㎜程の砂粒少し含む	にぶい黄橙　10YR6/3	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ		カ1825-0001
113図23	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	(16.7)	—	—	細砂粒～2㎜程の砂粒多く含む	にぶい黄褐　10YR5/4	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ		カ1825-0009
113図24	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒多く含む	にぶい黄橙　10YR7/2	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1825-0004
113図25	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	—	—	—	細砂粒～1㎜程の砂粒多く含む	にぶい橙　7.5YR6/4	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	口縁部のみ	カ1825-0003
113図26	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	甕	—	(8.2)	—	細砂粒～1㎜程の砂粒多く含む	外：にぶい橙　7.5YR6/4 内：にぶい橙　7.5YR7/4	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	内面剥離	カ1825-0006
113図27	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	壺	(17.3)	—	—	細砂粒～1.5㎜程の砂粒多く含む	外：にぶい橙　7.5YR7/4 内：灰黄褐　10YR6/2	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾊｹﾒ	頸部に沈線	カ1825-0008
113図28	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	壺	—	—	—	細砂粒～1㎜程の砂粒少し含む	外：にぶい黄橙 10YR6/3 内：にぶい橙　7.5YR7/3	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ	頸部径（13）	カ1825-0010
113図29	30-25	的五本黒木遺跡	№5	弥生土器	高坏	—	—	—	細砂粒～1.5㎜程の砂粒多く含む	外：橙　7.5YR6/8 内：褐灰　7.5YR5/1	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ		カ1825-0015
113図30	30-25	的五本黒木遺跡	№5	弥生土器	高坏	—	28	—	精選胎土	外：にぶい橙　7.5YR7/3 内：橙　7.5YR7/6	外：ﾊｹ摩耗、ﾅﾃﾞ 内：ﾊｹ後ﾐｶﾞｷ摩耗		カ1825-0016
113図31	30-25	的五本黒木遺跡	№1	弥生土器	鉢	(19.8)	—	7.5	細砂粒～2㎜程の砂粒多く含む	外：にぶい橙　7.5YR7/4 内：明赤褐　7.5YR5/6	外：ﾅﾃﾞ 内：ﾅﾃﾞ		カ1825-0013
113図32	30-25	的五本黒木遺跡	№5	弥生土器	鉢	(16)	—	5.1	精選胎土	外：浅黄橙　10YR8/3 内：にぶい黄橙 10YR7/3	外：ﾅﾃﾞ、ﾊｹﾒ 内：ﾊｹﾒ		カ1825-0019

（　　）は復元値を表す

写真１　本堀朝日遺跡（30-1）トレンチ

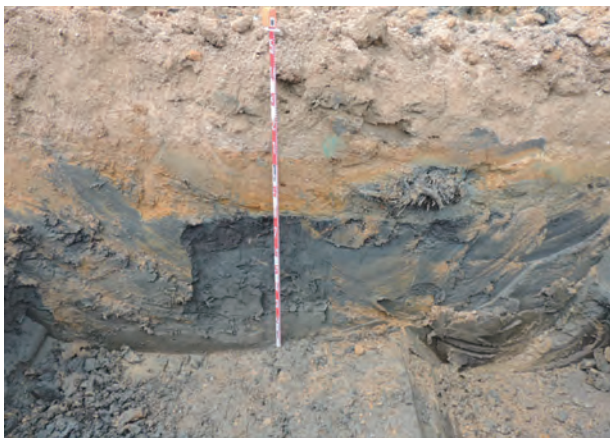


写真２　本堀朝日遺跡（30-1）土層

写真３　末周知（30-2）トレンチ

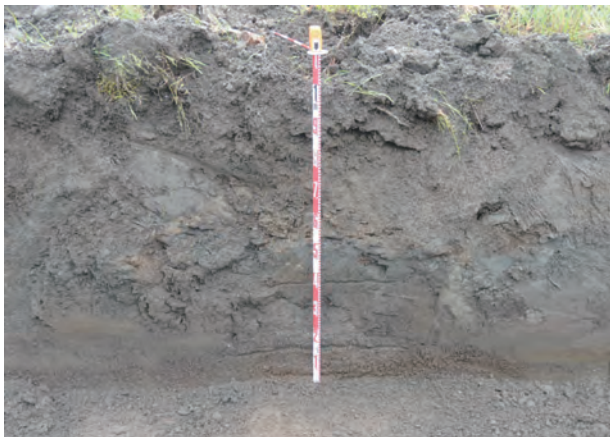


写真４　末周知（30-2）土層

写真５　小森田上地遺跡（30-3）トレンチ

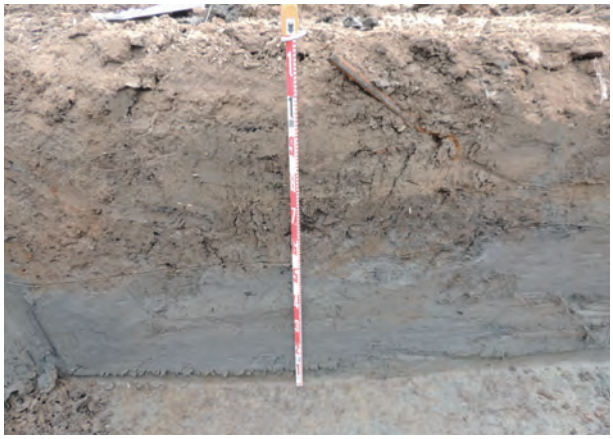


写真６　小森田上地遺跡（30-3）土層

写真７　志波屋四本松遺跡（30-4）トレンチ

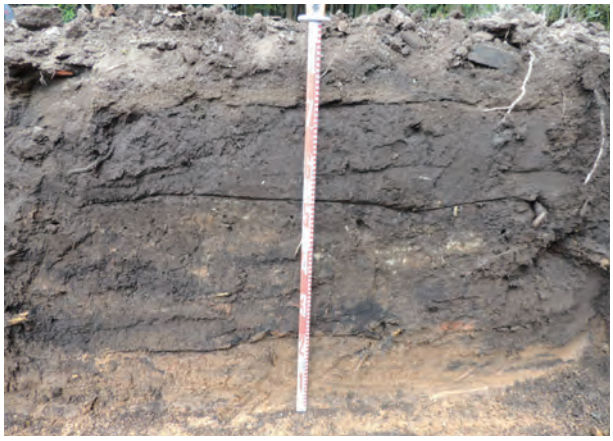


写真８　志波屋四本松遺跡（30-4）土層

図版２

写真９　本堀朝日遺跡（30-5）トレンチ

写真10　本堀朝日遺跡（30-5）土層

写真11　的五本黒木遺跡（30-6）トレンチ

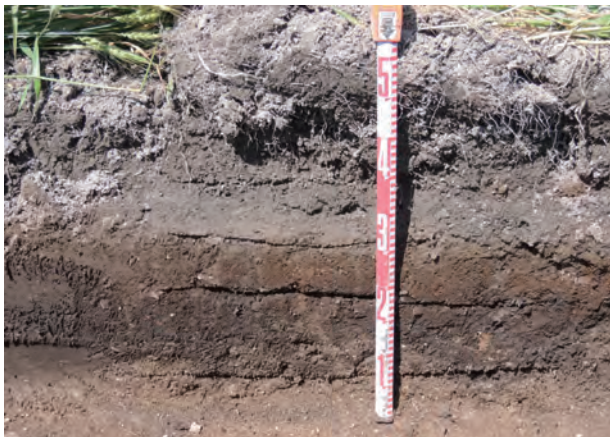


写真12　的五本黒木遺跡（30-6）土層

写真13　西田遺跡（30-7）トレンチ

写真14　西田遺跡（30-7）土層

写真15　花浦古墳群（30-8）トレンチ

写真16　花浦古墳群（30-8）土層

写真17　未周知（30-9）トレンチ

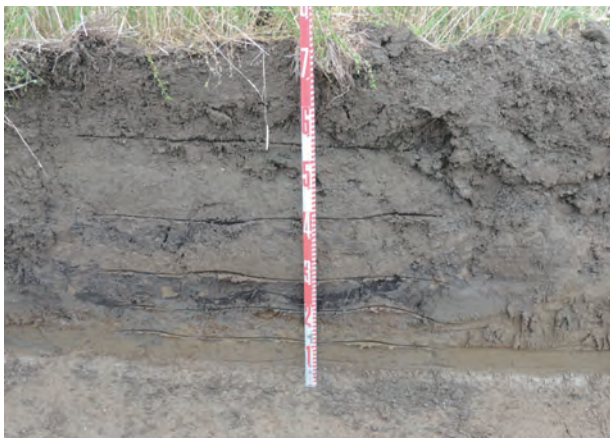


写真18　未周知（30-9）土層

写真19　柏原四の割遺跡（30-10）トレンチ

写真20　柏原四の割遺跡（30-10）土層

写真21　下直鳥遺跡（30-11）トレンチ

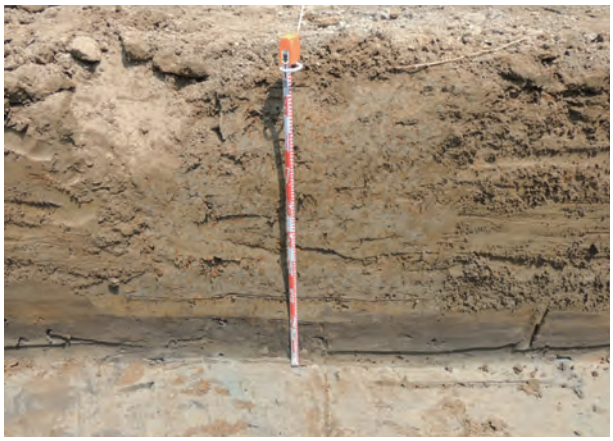


写真22　下直鳥遺跡（30-11）土層

写真23　直鳥城跡（30-12）トレンチ

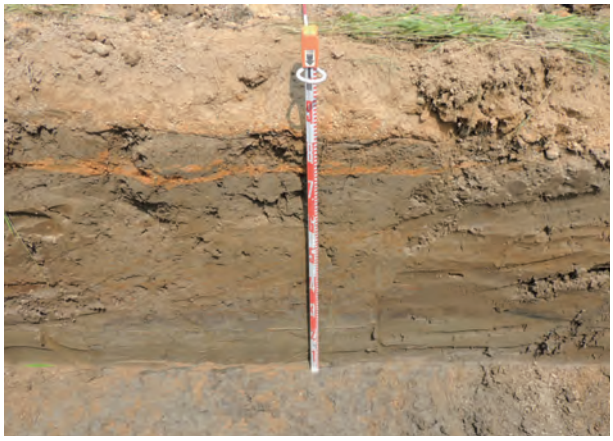


写真24　直鳥城跡（30-12）土層

図版４

写真25　境原四本松遺跡（30-13）トレンチ

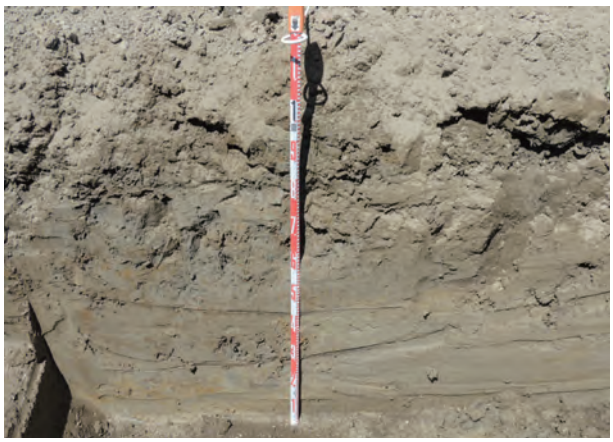


写真26　境原四本松遺跡（30-13）土層

写真27　志波屋二本松（乙）遺跡（30-14）トレンチ

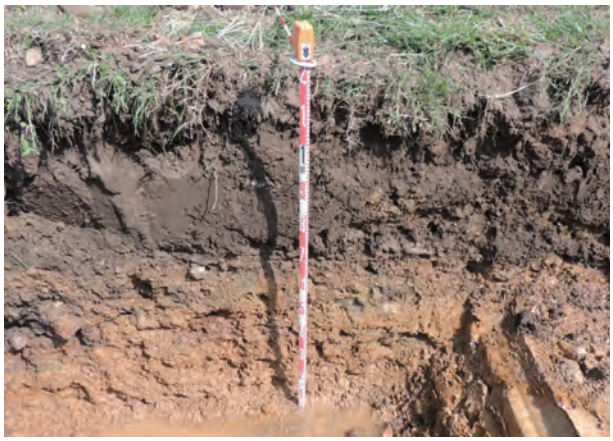


写真28　志波屋二本松（乙）遺跡（30-14）土層

写真29　詫田西分遺跡（30-15）トレンチ

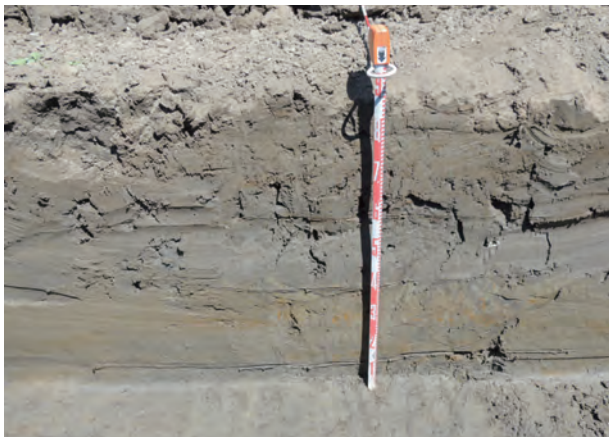


写真30　詫田西分遺跡（30-15）土層

写真31　神埼宿遺跡（30-16）トレンチ

写真32　神埼宿遺跡（30-16）土層

写真33　貴別当神社遺跡（30-17）トレンチ

写真34　貴別当神社遺跡（30-17）土層

写真35　上六丁遺跡（30-18）トレンチ

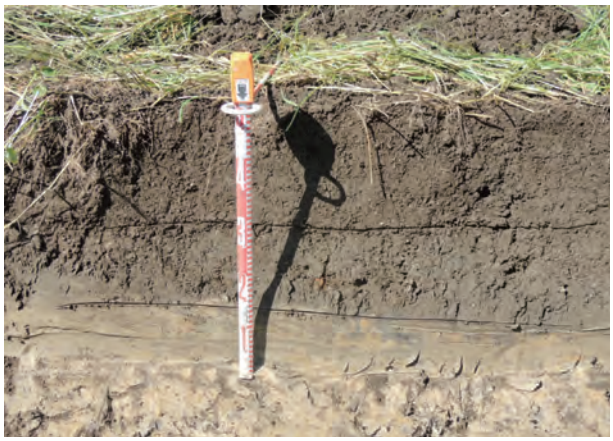


写真36　上六丁遺跡（30-18）土層

写真37　的五本黒木遺跡（30-19）トレンチ

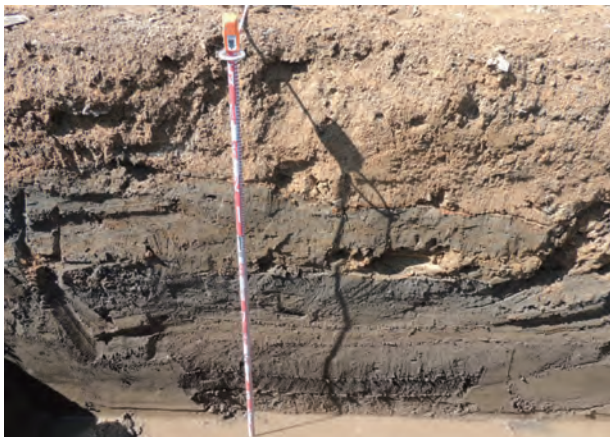


写真38　的五本黒木遺跡（30-19）土層

写真39　原の町西遺跡（30-20）トレンチ

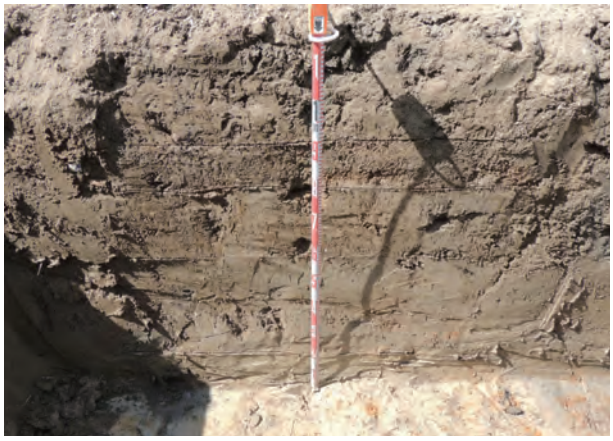


写真40　原の町西遺跡（30-20）土層

図版６

写真41　貴別当神社遺跡（30-21）トレンチ

写真42　貴別当神社遺跡（30-21）土層

写真43　大島環濠集落（30-22）トレンチ

写真44　大島環濠集落（30-22）土層

写真45　下六丁遺跡（30-23）トレンチ

写真46　下六丁遺跡（30-23）土層

写真47　志波屋一本松遺跡（30-24）トレンチ

写真48　志波屋一本松遺跡（30-24）土層

写真49　的五本黒木遺跡（30-25）トレンチ

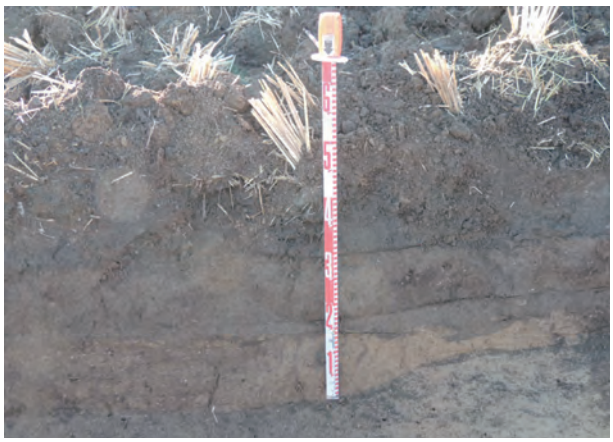


写真50　的五本黒木遺跡（30-25）土層

写真51　川寄若宮遺跡（30-26）トレンチ

写真52　川寄若宮遺跡（30-26）土層

写真53　野田遺跡（30-27）トレンチ

写真54　野田遺跡（30-27）土層

写真55　下犬童環濠集落（30-28）トレンチ

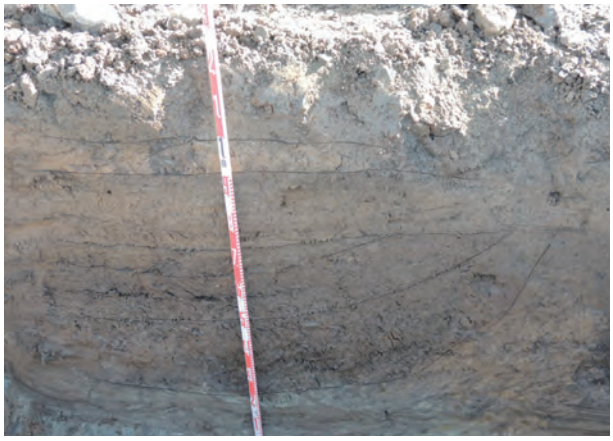


写真56　下犬童環濠集落（30-28）土層

図版８

写真57　本告牟田遺跡（30-29）トレンチ

写真58　本告牟田遺跡（30-29）土層

写真59　仲田町環濠集落（30-30）トレンチ

写真60　仲田町環濠集落（30-30）土層

写真61　志波屋五の坪遺跡（30-31）トレンチ

写真62　志波屋五の坪遺跡（30-31）土層

写真63 城原四本谷遺跡（30-32）トレンチ

写真64　城原四本谷遺跡（30-32）土層

写真65　丁太田遺跡（30-33）トレンチ

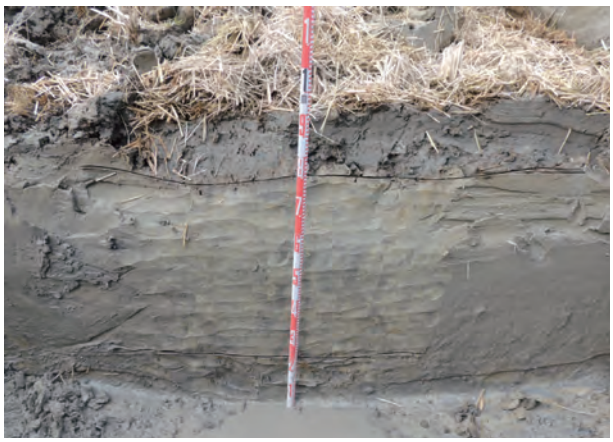


写真66　丁太田遺跡（30-33）土層

写真67　尾崎利田遺跡（30-34）トレンチ

写真68　尾崎利田遺跡（30-34）土層

写真69　下直鳥遺跡（30-35）トレンチ

写真70　下直鳥遺跡（30-35）土層

写真71　本堀町裏遺跡（30-36）トレンチ

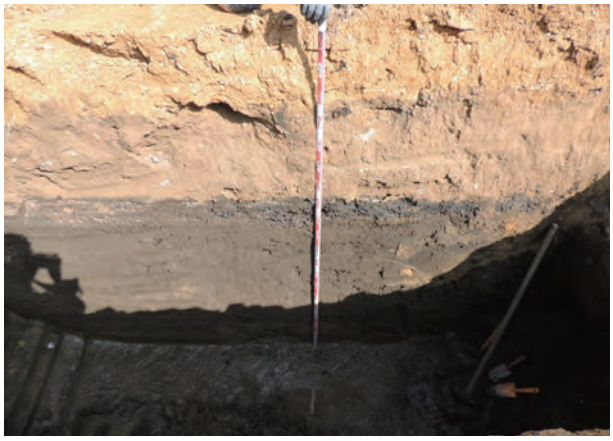


写真72　本堀町裏遺跡（30-36）土層

1

7

14

2

8

16

3

9

17

4

11

18

5

12

19

6

13

20

21

27

10

22

28

23

29

15

24

30

15

25

31

26

32

報　告　書　抄　録

ふりがな	しないいせきかくにんちょうさがいようほうこくしょ
書　　名	市内遺跡確認調査概要報告書　XII
副　書　名	神埼市内埋蔵文化財確認調査（平成30年度）の概要
巻次	第29集
シリーズ名	神埼市文化財調査報告書
シリーズ番号	XII
編集者名	島　佑輔・髙柳　信敏
編集機関名	神埼市教育委員会
所在地	佐賀県神埼市千代田町直鳥166番地1
発行日	令和２年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しないいせき 市内遺跡	佐賀県神埼市 市内一円	412104				平成30年度		土地開発 に伴う 確認調査

所収遺産名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
市内遺跡	散布地 集落跡 貝塚 城館跡	縄文時代 ～ 近世	小穴 溝 土坑 住居跡	弥生土器 土師器 須恵器	

神埼市文化財調査報告書第29集

市内遺跡確認調査概要報告書 XII

令和２年３月31日

発行　神埼市教育委員会
〒842-8502 佐賀県神埼市千代田町直鳥166-1
TEL 0952-44-2731

印刷　株式会社佐賀印刷社
〒849-0921 佐賀県佐賀市高木瀬西6-11-7
TEL 0952-31-6171